診療部門（外科系）のご案内

上部消化管外科（一般外科）

□ 診療内容

当科は成人の上部消化管の食道癌や胃癌、消化管間葉系腫瘍（GIST）など悪性疾患を対象とした治療のほか、病的肥満症に対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除、胃食道逆流症、食道裂孔ヘルニアやアカラシア等の良性疾患もチームを編成して専門的な医療を行っています。その他の一般外科疾患も取り扱っています。

【消化管外科　2023年　手術総数174件】

① 食道外科（45件）：食道がんに対する内視鏡治療から手術、化学放射線療法に至るまで様々な治療を行っています。手術は胸腔鏡による食道切除と腹腔鏡による再建のほかに、ロボット支援手術も行っています。胃食道逆流症、食道裂孔ヘルニアやアカラシア等の良性疾患にもほぼ全例に腹腔鏡手術を行って良好な成績を収めています。

② 胃外科（129件）：胃がんは早期胃癌から進行胃癌まで切除可能な胃癌に対して、また粘膜下腫瘍に対しても、患者さんの体の負担を軽減するために内視鏡手術や腹腔鏡手術・ロボット支援手術を積極的に行っています。根治の難しい高度進行胃がんに対しては、化学療法を行ってから手術するなど治療成績の向上を図っています。また、病的肥満症患者に対する腹腔鏡下胃スリーブ胃切除術も内分泌内科、精神科、栄養科などとチームで保険診療を行っています。

【一般外科　2023年　手術総数　156件】

虫垂炎や成人鼠径ヘルニアといった一般的な外科疾患の手術も数多く行っています。その他の急性腹症や外傷などの救急疾患も24時間体制で対応しています。

□ 特徴・特色

上部消化管外科は、歴代教授の専門分野が「消化管の悪性腫瘍」であり、伝統的に消化器癌（食道癌・胃癌）などの腫瘍外科領域の治療経験が豊富です。癌治療における「根治性と機能温存の調和」が教室のモットーであり、十分なインフォームド・コンセントの下で、症例ごとに適格な診断を行い、適切な治療として腫瘍外科領域の手術法だけでなく集学的治療として幅広い選択肢を用意していることが特徴です。悪性腫瘍に対しては内視鏡治療から腹腔鏡下手術、ロボット支援手術に至るまで低侵襲治療を積極的に取り入れています。内視鏡治療は早期食道がんに対しての内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を中心に行っております。内視鏡外科下手術は進行食道がん、進行胃がんにも行っているほか、ヘルニアや虫垂炎などの良性疾患にも行っています。また、がんの根治性を維持しつつ、機能温存を図る工夫も行っております。胃がんでは胃切除後の術後障害（後遺症）を軽減する再建術を採用しています。

□ 専門外来

食道専門外来	月曜 am　9：00～中島
	木曜 am　9：00～中島
食道専門外来（紹介のみ）	木曜 am10：00～室井
胃専門外来	火曜 am　9：00～森田･中川･井上
	木曜 am　9：00～森田･中川･上田
	金曜 am　9：00～小嶋・滝瀬
胃化学療法外来	金曜 am　9：00～井上

診療部長	小嶋（こじま） 一幸（かずゆき）
医局長	中川（なかがわ） 正敏（まさとし）
外来医長	井上（いのうえ） 昇（のぼる）
病棟医長	滝瀬（たきせ） 修平（しゅうへい）

外来受付電話番号　0282-87-2202

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	専門医
【上部消化管・一般外科】				
小嶋（こじま） 一幸（かずゆき）	教　授	上部消化管疾患	胃がん、ロボット手術・腹腔鏡手術、GIST	＊1 ＊2 ＊7 ＊8
森田（もりた） 信司（しんじ）	准教授	上部消化管疾患	胃がん、腹腔鏡手術、抗癌剤治療、ロボット手術	＊1 ＊2 ＊7 ＊8
中島（なかじま） 政信（まさのぶ）	准教授	上部消化管疾患	食道がん、食道裂孔ヘルニア、アカラシア、ロボット手術	＊1 ＊2 ＊3 ＊4 ＊5 ＊6 ＊7 ＊8
中川（なかがわ） 正敏（まさとし）	講　師	上部消化管疾患	胃がん、腹腔鏡手術、抗癌剤治療	＊1 ＊2
滝瀬（たきせ） 修平（しゅうへい）	助　教	消化器外科	消化器外科全般	＊1 ＊2
井上（いのうえ） 昇（のぼる）	助　教	消化器外科	消化器外科全般	＊1
上田（うえた） 裕（ゆう）	助　教	消化器外科	消化器外科全般	＊1
入江（いりえ） 澄子（すみこ）	レジデント	消化器外科	消化器外科全般	
出口（でぐち） 遂己（なるみ）	レジデント	消化器外科	消化器外科全般	
日引皐太郎（ひびきこうたろう）	レジデント	消化器外科	消化器外科全般	

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください。
＊紹介状がないか、担当医名のない紹介状をお持ちの初診の患者さんは初診外来担当が診察いたします。
　その後、適切な専門医の外来が予約されますのでご安心下さい。

＊1：一般社団法人　日本外科学会　外科専門医
＊2：一般社団法人　日本消化器外科学会　消化器外科専門医
＊3：一般財団法人　日本消化器病学会　消化器病専門医
＊4：特定非営利活動法人　日本気管食道科学会　気管食道科専門医
＊5：一般社団法人　日本消化器内視鏡学会　消化器内視鏡専門医
＊6：特定非営利活動法人　日本食道学会　食道外科専門医
＊7：一般社団法人　日本内視鏡外科学会　技術認定医
＊8：一般社団法人　日本内視鏡外科学会　ロボット支援下手術プロクター

□ その他

特に紹介していただきたい疾患

消化管外科：食道がん、胃がん（病期に適した治療を行います。）
一 般 外 科：腹部外傷、消化管穿孔、イレウス、腹膜炎、虫垂炎などの急性腹症

下部消化管外科（一般外科）

□ 診療内容

当科は、小腸、大腸、肛門に至る臓器の疾患に対して、豊富な手術経験を元に最良の外科治療を提供する診療科です。最大の特徴は、日本大腸肛門病学会専門医６名、日本内視鏡外科学会技術認定医５名、ロボット支援下大腸手術プロクター３名が在籍し、手術指導を行うことで確実で安全な手術を提供します。年間手術件数は400件施行し、大腸癌手術は200件以上で、術式別の内訳は、腹腔鏡下手術55%、ロボット支援下手術40%、開腹手術5%です。腹腔鏡手術やロボット支援下手術を積極的に導入することで、体への負担が少なく、早期の社会復帰が可能となります。また、急性虫垂炎、鼠径ヘルニアなどの一般外科症例に対しても専門的な治療を行います。基礎疾患をお持ちの方やご高齢の方に対しても他の診療科との連携をとり個々の患者さんに合った最善の個別化治療を提供します。他の施設で年齢や基礎疾患を理由に手術を断られたり、開腹手術を勧められたりした方もぜひ一度ご相談下さい。病状や治療方法は、患者さんやご家族に十分にご理解頂くよう分かりやすく丁寧に御説明いたします。また、セカンドオピニオンにも柔軟に対応しております。

□ 対象疾患と治療

【大腸領域】

○ **大腸癌（結腸と直腸）**

大腸癌手術は年間約200件で、術式別の内訳は、腹腔鏡下手術55%、ロボット支援下手術40%、開腹手術5%です。

切除が不可能もしくは適応とならない場合には、人工肛門造設、消化管ステント、抗癌剤治療（化学療法）、放射線治療が選択されることもあります。化学療法は入院と外来で患者さんのニーズに合った治療スケジュール、レジメンを提案させていただきます。

○ **進行直腸癌に対する術前化学放射線治療**

癌の縮小や肛門温存率の向上そして局所再発率の低下を目的として術前治療（抗癌剤，放射線療法）などの集学的治療を施行します。その後に治療効果を判定し、現在の治療の継続または低侵襲な腹腔鏡下手術やロボット支援下手術を行います。

○ **大腸癌による転移性肝腫瘍、転移性肺腫瘍**

肝胆膵外科、呼吸器外科と連携をとり外科治療を含め集学的治療を行います。

○ **炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎）の外科治療**

消化器内科と連携して炎症性腸疾患の外科治療を行います。重症の潰瘍性大腸炎の緊急手術や、クローン病の狭窄、穿通に対する消化管切除など、迅速に対応しています。

○ **大腸憩室症（憩室炎、憩室出血、憩室穿孔、結腸膀胱瘻）**
○ **腸閉塞（イレウス）**　　○**小腸癌**
○ **大腸消化管間質腫瘍（GIST）、大腸神経内分泌腫瘍（NET）**

【肛門領域】

○ **人工肛門関連（ストーマ脱、傍ストーマサイトヘルニア、ストーマ周囲の皮膚トラブル）**

過去に他院で増設された方でも結構ですので人工肛門関連でお悩みの方は是非ご相談ください。

○ **肛門疾患（痔核、痔瘻、肛門周囲膿瘍）**

内痔核に対しては切除しない四段階硬化療法（ALTA）を施行させていただきます。長年、肛門疾患を患っている患者さんは外科治療適応があるかもしれません。ぜひ一度ご相談ください。

○ **直腸脱、骨盤臓器脱**

婦人科、泌尿器科と連携して腹腔鏡やロボット支援下にメッシュを使用した修復術を行います。

【一般外科領域】

○ **鼠径ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニア**

日本内視鏡外科学会技術認定医（ヘルニア領域）が在籍しており、専門的なヘルニア治療を提供します。初発、再発例、難治症例などお困りの際は、ご相談ください。腹壁瘢痕ヘルニアに対しても腹腔鏡手術で治療を行っております。

○ **虫垂炎**

腹腔鏡治療で低侵襲な治療の提供を目指します。

○ **中心静脈ポート留置**

抗癌剤導入、在宅治療導入、ルートキープ困難例においてポート留置をさせて頂きます。

○ **経皮経食道胃管挿入術（PTEG）**

長期に胃管・イレウス管が留置されている方や胃瘻造設が困難である方に適応があります。局所麻酔で施行が可能です。患者さんのQOLが上がります。

【その他】

○ **再生医療**

クローン病に伴う複雑痔瘻の治療に用いるアロフィセルのご相談。

○ **腸管不全**

短腸症候群の治療に用いるレベスティブのご相談。

診療部長　水島（みずしま）　恒和（つねかず）
医局長　蜂谷（はちや）　裕之（ひろゆき）
外来医長　根本鉄太郎（ねもとてつたろう）
病棟医長　髙柳（たかやなぎ）　雅（まさし）

外来受付電話番号　0282-87-2203

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	特に専門とする領域	専門医
水島（みずしま）　恒和（つねかず）	教　授	ロボット支援下手術、炎症性腸疾患、肛門疾患、腸管不全	＊1 ＊2 ＊3 ＊4 ＊5
中村（なかむら）　隆俊（たかとし）	教　授	ロボット支援下手術・炎症性腸疾患	＊1 ＊2 ＊3 ＊4 ＊5
石塚（いしづか）　満（みつる）	准教授	ロボット支援下手術、骨盤臓器脱	＊1 ＊2 ＊3 ＊4
蜂谷（はちや）　裕之（ひろゆき）	講　師	ロボット支援下手術、肛門疾患、鼠径ヘルニア	＊1 ＊2 ＊3 ＊4
井原（いはら）　啓佑（けいすけ）	講　師	ロボット支援下手術、炎症性腸疾患、化学療法	＊1 ＊2 ＊3
渋谷（しぶや）　紀介（のりすけ）	講　師	ロボット支援下手術、肛門疾患、化学療法	＊1 ＊2 ＊3 ＊4 ＊5
根本鉄太郎（ねもとてつたろう）	助　教	ロボット支援下手術、大腸・肛門疾患	＊1 ＊2
髙柳（たかやなぎ）　雅（まさし）	助　教	大腸・肛門疾患	＊1 ＊2
河野（こうの）　貴博（たかひろ）	助　教	大腸・肛門疾患	＊1
西（にし）　雄介（ゆうすけ）	助　教	大腸・肛門疾患	＊1

＊1：一般社団法人　日本外科学会　外科専門医　　＊2：一般社団法人　日本消化器外科学会　消化器外科専門医
＊3：一般財団法人　日本大腸肛門病学会　大腸肛門病専門医　　＊4：一般社団法人　日本内視鏡外科学会　技術認定医
＊5：一般社団法人　日本内視鏡外科学会　ロボット支援下手術プロクター

□ 外来曜日別診療医一覧表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	根本鉄太郎　医員 西　雄介　医員	中村　隆俊　教授 石塚　満　准教授 井原　啓佑　講師	水島　恒和　教授 髙柳　雅　助教	蜂谷　裕之　講師 井原　啓佑　講師 （第1・3・5週）	渋谷　紀介　講師 河野　貴博　医員	

月曜日から土曜日まで診察を受け付けております。
当科宛の紹介状をご持参の上、11：00までに来院いただくようご説明お願い致します。

肝・胆・膵外科（一般外科）

□ 診療内容

当科では、肝胆膵外科・一般外科・移植外科・血管外科の診察を行っています。外来は、肝胆膵外科、一般外科診察のほかに専門外来を設けています。一方、入院は、教授を中心として速やかでかつ的確な診断方針の決定を行い、手術を基本とした専門的な治療を行っています。また、化学療法や放射線療法など、集学的な治療の経験も豊富です。

【主な対象疾患】

肝胆膵外科：肝臓・胆嚢・胆管・膵臓の良性・悪性腫瘍、胆石症・門脈圧亢進症などの良性疾患。

一 般 外 科：鼠径および大腿ヘルニア、下肢静脈瘤などの血管疾患、腎不全患者のシャント増設や腹膜カテーテル挿入。また緊急症例として、腸閉塞、急性虫垂炎、外傷性腹腔内出血など。

移 植 外 科：非代償性肝硬変や劇症肝炎などに対する生体肝移植
腎不全に対する生体腎移植および屍体（脳死下、心停止下）腎移植、Ⅰ型糖尿病に対する脳死下膵移植

□ 特徴・特色

肝胆膵外科、一般外科および移植外科、血管外科を専門としています。

教室の伝統である肝胆膵外科を看板とし、症例も豊富です。2000年4月以降の症例数は、肝切除2,000例以上（年間70例以上）、膵切除670例以上（ここ数年は年間80例前後）に達しています。鏡視下手術も積極的に導入しており、胆石症以外にも肝臓、膵臓、脾臓、副腎などの疾患も対象にしています。また末梢血管手術も積極的に行っています、透析用内シャント手術はこれまで3,500例以上を経験し、手技に熟達しています。また、2000年10月には、栃木県下で初の生体肝移植を成功させ、その後、症例数は45例になっています。さらに、当科は日本臓器移植ネットワークの腎移植実施施設・献腎摘出施設に認定されており、生体および献腎移植を行っています。また、脳死ドナーからの膵移植実施施設として認定されており、2015年7月、2019年3月には脳死下膵腎同時移植を成功させております。

□ 専門外来

下肢静脈瘤外来（下肢静脈瘤の硬化療法）
　水・土　　朴、田中
シャント外来（腎不全患者のシャント造設）
　金（午前中）　櫻岡
腎移植登録（腎移植希望者の登録）
　火（午前中）
生体肝移植希望者は、青木教授外来（火曜日）でお話を伺います。
神経内分泌腫瘍に対する手術、集学的治療のご相談は青木教授外来（火曜日）にて受け付けております。

□ 診療体制

外来は毎日講師以上の医師1名と助教など1～2名の医師が担当しています。

入院後の診療は、講師1名と助教2～4名からなる2つの診療班があり、疾患別に専門の診療班が担当します。休日・夜間の当直体制での緊急手術は、講師以上の呼び出しにより万全を期しています。

診療部長　青木（あおき）　琢（たく）

医局長　森（もり）　昭三（しょうぞう）

外来医長　松本（まつもと）　尊嗣（たかつぐ）

病棟医長　白木（しらき）　孝之（たかゆき）

外来受付電話番号　0282-87-2203

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	専門医
青木（あおき）　琢（たく）	教　授	肝胆膵・一般外科	肝・胆・膵疾患、肝移植、神経内分泌腫瘍	＊1 ＊2
森（もり）　昭三（しょうぞう）	講　師	肝胆膵・一般外科	肝・胆・膵疾患	＊1 ＊2
根本（ねもと）　猛彦（たけひこ）	講　師	肝胆膵・一般外科	消化器疾患、肝移植、腎移植、血管疾患	＊1 ＊2
白木（しらき）　孝之（たかゆき）	講　師	肝胆膵・一般外科	消化器疾患、肝・胆・膵疾患	＊1 ＊2
櫻岡（さくらおか）　佑樹（ゆうき）	講　師	肝胆膵・一般外科	消化器疾患、肝・胆・膵疾患、下肢静脈瘤、腎不全外科	＊1 ＊2
松本（まつもと）　尊嗣（たかつぐ）	講　師	肝胆膵・一般外科	肝・胆・膵疾患、肝移植	＊1 ＊2
小菅（こすげ）　崇之（たかゆき）	助　教	肝胆膵・一般外科	肝・胆・膵疾患、腎不全外科、血管外科	
朴（ぼく）　景華（けいか）	助　教	肝胆膵・一般外科	肝・胆・膵疾患	＊1
山口（やまぐち）　教宗（たかむね）	助　教	肝胆膵・一般外科	肝・胆・膵疾患	＊1 ＊2
清水（しみず）　崇行（たかゆき）	助　教	肝胆膵・一般外科	肝・胆・膵疾患	＊1 ＊2
田中（たなか）　元樹（げんき）	助　教	肝胆膵・一般外科	肝・胆・膵疾患、下肢静脈瘤	＊1 ＊2
宮下将太郎（みやしたしょうたろう）	助　教	肝胆膵・一般外科	肝・胆・膵疾患	＊1
仁木（にき）まい子（こ）	助　教	肝胆膵・一般外科	肝胆膵・一般外科、肝・胆・膵疾患	＊1
中野（なかの）　智文（さとふみ）	助　教	消化器外科	消化器疾患	

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：一般社団法人　日本外科学会　外科専門医　＊2：一般社団法人　日本消化器外科学会　消化器外科専門医

□ その他

特に紹介していただきたい疾患

肝胆膵疾患：肝切除術は、原発性肝がんのほか転移性肝がんに対しても積極的に行っています。腹腔鏡下肝切除も積極的に施行しております。大腸がんの肝転移症例は外科的治療と集学的治療も含め、是非御紹介下さい。また、内科治療困難な肝疾患（肝硬変、劇症肝炎等）に対して生体肝移植を施行しています。また、進行の早い胆嚢がん・膵がんは早急に入院･手術を行います。また、神経内分泌腫瘍（NEN）に対する集学的治療を行っています。希少疾患ですが、是非御紹介ください。

生体肝移植・膵、腎移植希望者：ぜひ、外来にご連絡ください。

小児外科

□ 診療内容

【入院総数　2023年 338件　　手術総数　2023年 264件】
　新生児から15歳までの（頭部（脳脊髄神経系）、心臓大血管、四肢を除いた）小児外科疾患を対象に診療を行っております。扱う疾患は多岐に及び、鼠径ヘルニア、停留精巣、臍ヘルニアなどの一般外科疾患から、急性虫垂炎、腸重積症、肥厚性幽門狭窄症などの急性腹部疾患、食道閉鎖症や横隔膜ヘルニア、腸閉鎖、鎖肛などの新生児外科疾患、小児固形腫瘍、胆道閉鎖症や胆道拡張症、胃食道逆流症、ヒルシュスプルング病などの消化器疾患、膀胱尿管逆流症や水腎症などの小児泌尿器科疾患、嚢胞性肺疾患や気胸などの呼吸器疾患、腹部外傷などの診療を行っています。新生児外科疾患は小児科新生児班医師と小児固形腫瘍疾患は小児腫瘍血液班医師と協力して治療にあたります。

□ 特徴・特色

　当診療科は獨協医科大学とちぎ子ども医療センター内の診療科でもあり、子ども病棟に固有床を有しております。そのため、医師、看護師等すべて小児専門スタッフによる管理・看護を提供しております。なお、重症な患者さんに対しては周術期にICU（集中治療室）に入室していただき集中治療専門スタッフによる管理をすることもあります。
　新生児外科疾患に関しては、NICU（新生児集中治療室）にて手術、全身管理をNICU医師と連携して行います。超低出生体重児（1,000g未満のあかちゃん）の消化管穿孔、腸閉鎖、鎖肛、食道閉鎖症、横隔膜ヘルニア、臍帯ヘルニア・腹壁破裂など新生児外科疾患にまんべんなく対応しております。
　小児固形腫瘍疾患（神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫）に対する治療経験も豊富であり、原則的に全国規模の標準治療プロトコールに則した治療を小児科腫瘍血液専門スタッフとともに行っております。
　重症心身障害児に対する外科治療（気管切開、喉頭気管分離術、胃瘻造設、腹腔鏡下噴門形成術など）を行っております。
　小児腹部外傷については、救命救急センターと協力して診療にあたっています。
　小児泌尿器科疾患、小児嚢胞性肺疾患、小児頚部嚢胞などに対する外科治療も行っております。
　また、当科では創の小さい手術や低侵襲手術を積極的に採り入れており、鼠径ヘルニア、急性虫垂炎、肥厚性幽門狭窄症、整復不能であった腸重積症などに対して腹腔鏡手術を採り入れているのみならず、高難度手術である胃食道逆流症に対する噴門形成術、胆道拡張症手術、ヒルシュスプルング病手術、中間位・高位鎖肛手術、嚢胞性肺疾患手術などでも可能な限り鏡視下手術を行っております。今後も適応疾患を拡大していく予定です。

□ 専門外来

小児外科外来	月曜	am 9:30～	渡邊
	火曜	am 9:30～	交代制
	水曜	am 9:30～	鈴木
	木曜	am 9:30～	交代制
	金曜	am 9:30～	荻野
	土曜	am 9:30～	畑中/鎌田

診療部長　鈴木（すずき）　完（かん）

医局長　畑中（はたなか）　政博（まさひろ）

外来医長　荻野（おぎの）　恵（けい）

病棟医長　渡邊（わたなべ）　峻（しゅん）

外来受付電話番号　0282-87-2201

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	専門医
鈴木（すずき）　完（かん）	准教授	小児外科	新生児外科、小児固形腫瘍、小児泌尿器科、小児内視鏡手術	＊1 ＊2 ＊3 ＊4 ＊5
畑中（はたなか）　政博（まさひろ）	助　教	小児外科	小児外科一般	＊1 ＊2
荻野（おぎの）　恵（けい）	助　教	小児外科	小児外科一般	＊1 ＊2
渡邊（わたなべ）　峻（しゅん）	助　教	小児外科	小児外科一般	＊1 ＊2
鎌田（かまた）　悠子（ゆうこ）	助　教	小児外科	小児外科一般	＊1

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください
＊紹介状をお持ちの初診患者さんは外来日に随時受け付けますので、紹介状を持ってご来院ください。
＊救急患者さんも随時受け付けておりますが、あらかじめ子ども医療センター外来にお電話をお願いします。
＊第3土曜日には外来は行っておりません。
＊1：一般社団法人　日本外科学会　外科専門医
＊2：特定非営利法人　日本小児外科学会　小児外科専門医
＊3：一般社団法人　日本周産期・新生児医学会　認定外科医
＊4：一般社団法人　日本小児血液・がん学会　小児がん認定外科医
＊5：日本小児泌尿器科学会　認定医

心臓・血管外科

□ 診療内容

当科は心臓外科と血管外科を併せ持った診療科で文字通り心臓・大血管・末梢血管の疾患を外科治療で治す科です。

特定機能病院の性格上、他院よりの紹介患者さんが全体の90％以上を占めますが、一般外来患者さんも受け付けています。対象疾患は次のとおりです。

□ 主な対象疾患

○虚血性心疾患：急性冠症候群、狭心症、心筋梗塞合併症
○心臓弁膜症：大動脈弁疾患、僧帽弁疾患、三尖弁疾患
○大動脈疾患：胸部・腹部大動脈瘤、急性大動脈解離
○心筋疾患：拡張型心筋症、虚血性心筋症　ほか
○心臓腫瘍：粘液腫　など
○先天性心疾患：心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症　ほか、成人先天性心疾患
○末梢血管疾患：急性動脈閉塞症、慢性動脈閉塞症、閉塞性動脈硬化症、バージャー病、深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、透析症例のアクセス作成など

□ 特徴・特色

手術に関しては昨今医療の質が厳しく問われていますが、体に優しい低侵襲手術や質の高い（術後の生活の質を高める）手術を目指しています。年間約500例の手術を行っています。特に得意とする治療は次のとおりです。

○ 虚血性心疾患

オフポンプ冠動脈バイパス術：冠動脈バイパス術では、より低侵襲化を目指した人工心肺を用いない心拍動下冠動脈バイパス術（OPCABG）を行っています。人工心肺を用いない為、術後早期回復、術後合併症頻度の低下、早期退院、無輸血手術などが期待できます。特に75歳以上の高齢者、脳、肺、肝、腎障害などを合併したhigh riskな患者さんに有用であると考えられます。これにより術後の合併症もごくわずかになり、術後10日から2週間の早期に退院していただくことも可能になりました。

○ 心臓弁膜症（小切開心臓手術及び経カテーテル大動脈弁置換術）

弁膜症に対する手術法は、人工弁による弁置換術と弁形成術があります。新世代の人工弁の機能・耐久性とも格段に向上していますが、ワーファリンを服用しなくてはならずそれによる出血等の副作用もあります。一方、弁形成術は自分の弁温存を図るものでありワーファリン服用の必要がありません。当院では弁形成術、特に僧帽弁に対する形成術を積極的に行っています。また、左小切開開胸による低侵襲心臓手術も適応を選んで積極的に行っています。更に重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）を導入しています。

○ 重症心不全の外科治療

拡張型心筋症や虚血性心筋症などの重症心不全に対する左室縮小手術や僧帽弁逆流に対する介入、更に心臓移植へのブリッジである補助人工心臓植え込み術などを適応に合わせて行っています。

○ 胸部・腹部大動脈瘤

ステントグラフト内挿術：近年、大動脈瘤や大動脈解離（解離性大動脈瘤）の治療は、手術によって瘤の部分を人工血管に置換する方法のみならず、カテーテルを用いて人工血管を血管の内側からあてがう大動脈ステントグラフト内挿術が登場し、動脈瘤の場所や種類によっては、手術せずに大動脈瘤を治療できる時代になりました。麻酔も全身麻酔ではなく、局所麻酔で行うこともできるので、体の負担は外科手術に比し、極めて低いのが特徴です。ただ、ステントグラフトには改良の余地もあり、長期成績についてはいまだ議論すべき点はあります。したがって全ての大動脈瘤の患者さんにこの治療法が適応になるわけではなく、大動脈瘤の場所、形状、患者さんの全身状態、年齢等を十分加味し、より適切な治療法を選択します。

○ 末梢血管疾患

閉塞性動脈硬化症

閉塞性動脈硬化症に対する治療は薬物治療、カテーテル治療やバイパス手術などがあります。私たちは、患者さんに対して負担の少ないカテーテル治療から、カテーテル治療が不可能な病変に対してはバイパス手術、またはこれらを複合させた治療方法を、病変部位、病変数、患者さんの全身状態等を加味して選択し、生活の向上を目指した治療を行います。重症下肢虚血には高度な技術を要する足関節レベルまでのバイパス術を積極的に行っています。

下肢静脈瘤のレーザー治療

最新のレーザー治療から静脈瘤切除まで患者さんにあった適切な方法をご提供させて頂きます。

透析のアクセス造設及びメンテナンス

血管内治療から人工血管を用いたアクセス作成まで幅広くやっています。

診療部長　福田（ふくだ）　宏嗣（ひろつぐ）
医局長　緒方（おがた）　孝治（こうじ）
外来医長　土屋（つちや）　豪（ごう）
病棟医長　加藤（かとう）　昂（たかし）

外来受付電話番号　0282-87-2206

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	専門医
福田（ふくだ）　宏嗣（ひろつぐ）	教　授	心臓血管外科	低侵襲心臓血管手術	＊1 ＊2
柴崎（しばさき）　郁子（いくこ）	教　授	心臓血管外科	弁膜症手術、心不全外科	＊1 ＊2
緒方（おがた）　孝治（こうじ）	准教授	心臓血管外科	血管外科	＊1 ＊2
小西（こにし）　泰介（たいすけ）	准教授	心臓血管外科	心臓・血管外科	＊1 ＊2
川村（かわむら）　匡（まさし）	准教授	心臓血管外科	成人心臓血管外科・心不全外科・心臓弁膜症・心臓移植	＊1 ＊2
土屋（つちや）　豪（ごう）	講　師	心臓血管外科	心臓・血管外科	＊1 ＊2
清水（しみず）　理葉（りは）	講　師	心臓血管外科	血管外科	＊1 ＊2
手塚（てづか）　雅博（まさひろ）	大学院生	心臓血管外科	血管外科領域のハイブリッド治療	＊1 ＊2
加藤（かとう）　昂（たかし）	助　教	心臓血管外科	成人心臓血管外科・大動脈瘤などの血管内治療	＊1 ＊2
横山（よこやま）　昌平（しょうへい）	大学院生	心臓血管外科	成人心臓血管外科	＊1
廣田（ひろた）章太郎（しょうたろう）	助　教	心臓血管外科	血管外科	＊1
松岡（まつおか）　大貴（たいき）	助　教	心臓血管外科	血管外科	
大久保（おおくぼ）翔平（しょうへい）	レジデント	心臓血管外科	成人心臓血管外科	
松下（まつした）　恭（やすし）	非常勤准教授	心臓血管外科	血管外科	＊1 ＊2 ＊3
斎藤（さいとう）　俊輔（しゅんすけ）	非常勤准教授	心臓血管外科	成人心臓血管外科	＊1 ＊2

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：一般社団法人　日本外科学会　外科専門医
＊2：特定非営利活動法人　日本心臓血管外科学会　心臓血管外科専門医
＊3：一般社団法人　日本循環器学会　循環器専門医

□ 専門外来

新患外来	月	am 9:00 ～ 12:00	福田　宏嗣	
冠動脈外科、心臓弁膜症、大動脈外科（ステントグラフト内挿術）	月	am 9:00 ～	福田　宏嗣	
血管外科	火・金（第2・4）	am 9:00 ～	緒方　孝治	心臓血管外科専門医、脈管専門医
冠動脈疾患、心臓弁膜症、大動脈瘤	火	am 9:00 ～	柴崎　郁子	心臓血管外科専門医
弁膜症（TAVI）、VAD外来	火	pm 1:00 ～	柴崎　郁子	心臓血管外科専門医
大動脈外科（ステントグラフト内挿術）	木	pm（第2・4）	清水　理葉	心臓血管外科専門医、脈管専門医
心臓血管外科一般			小西　泰介	心臓血管外科専門医、ステントグラフト実施基準管理委員会指導医
血管外科、大動脈外科（ステントグラフト内挿術）	金	am 9:00 ～	手塚　雅博	心臓血管外科専門医、脈管専門医、血管内治療医

回診、カンファレンス

○教授回診	水	am 8:00 ～	
○カンファレンス	月	pm 6:00 ～	ハートセンター内科・外科の合同カンファレンス
	火	pm 5:00 ～	心臓・血管外科カンファレンス
	水	am 8:00 ～	呼吸器外科・心臓・血管外科合同カンファレンス
	金	pm 5:00 ～	ハートセンター TAVIカンファレンス、VADカンファレンス、末梢血管カンファレンス

3ヵ月に1回、心臓・血管内科・循環器内科・心臓・血管外科の循環器疾患症例検討会を行っています。

呼吸器外科

□ 診療内容

当科は、呼吸器（肺、縦隔、胸壁など）疾患に対する外科治療を行っています。肺がんなどの腫瘍性疾患をはじめ、肺真菌症や膿胸などの炎症性疾患、気胸や呼吸不全などの機能性疾患に対し、最も良い治療法を選択し治療して参ります。また、脳死肺移植実施施設として肺移植適応症例を日本臓器移植ネットワークに登録し、肺移植手術を実施しています。

□ 主な対象疾患

○肺がん　○気胸　○縦隔腫瘍　○膿胸　○胸膜中皮腫
○肺移植

□ 特徴・特色

肺がん、縦隔腫瘍、気胸、その他の呼吸器外科疾患に対する手術を年間約250例行っています。特に、進行肺がんに対しては、化学療法や放射線療法を行った後に肺とともに浸潤臓器を合併切除する拡大手術や機能温存手術を積極的に行っています。また、早期肺がんには胸腔鏡併用手術やロボット手術、完全鏡視下肺葉切除を行なっています。

また、脳死肺移植実施施設全国11施設の１つとして認定され、2009年には関東甲信越地方では初となる脳死肺移植手術を施行しました。2024年５月現在、脳死肺移植、生体肺移植を31例に実施しており、肺移植後５年生存率87％の成績を得ています。

□ その他

高度医療

肺がん手術（気管･気管支形成術、血管形成術）、自然気胸･縦隔腫瘍・早期肺がんに対する胸腔鏡手術。

脳死肺移植、生体肺移植

特に紹介していただきたい疾患

肺がん、自然気胸、難治性気胸、縦隔腫瘍、膿胸、肺真菌症、血痰、喀血。

肺移植適応疾患（肺気腫・間質性肺炎・肺高血圧症・気管支拡張症・LAM　など）

肺 移 植

重症呼吸不全患者さんを対象として、肺移植に関する相談に応じています。

他に治療法がなく、肺移植の適応が考えられる場合には、（必要に応じて）検査入院していただき、肺移植適応検討委員会にてその適否が検討されます。最終的に肺移植適応と判定されますと、日本臓器移植ネットワークに登録され移植の日まで待機することとなります。

回診､カンファレンス

○教授回診	水	am 8:00 ～	
○カンファレンス	火	am 8:00 ～	呼吸器外科カンファレンス
		am 8:30 ～	呼吸器外科・呼吸器・アレルギー内科合同カンファレンス
	木	am 8:00 ～	呼吸器外科・呼吸器・アレルギー内科・放射線科合同カンファレンス

月２回、呼吸器外科・呼吸器･アレルギー内科・放射線科・病理部の合同カンファレンス（肺がんキャンサーボード）を行っています。

診療部長　千田　雅之
医局長　井上　尚
外来医長　前田寿美子
病棟医長　井上　尚

外来受付電話番号　0282-87-2206

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	専門医
千田　雅之	教　授	呼吸器外科	肺がん、肺移植、縦隔腫瘍、鏡視下手術、膿胸、胸部外傷	＊1 ＊2
前田寿美子	教　授	呼吸器外科	呼吸器外科一般	＊1 ＊2
中島　崇裕	准教授	呼吸器外科	呼吸器外科一般	＊1 ＊2
井上　尚	准教授	呼吸器外科	呼吸器外科一般	＊1 ＊2
山中　秀樹	講　師	呼吸器外科	呼吸器外科一般	＊1 ＊2
蓮実　健太	助　教	呼吸器外科	呼吸器外科一般	＊2
梅田　翔太	助　教	呼吸器外科	呼吸器外科一般	＊2

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：呼吸器外科専門医合同委員会　呼吸器外科専門医
＊2：一般社団法人　日本外科学会　外科専門医

□ 専門外来

肺がん、縦隔腫瘍、鏡視下手術、膿胸、胸部外傷	金　am 9:00 ～	千田　雅之
肺移植	水　午前中	千田　雅之
呼吸器外科一般	火　am 9:00 ～	前田寿美子
呼吸器外科一般	月　am 9:00 ～	中島　崇裕
肺がん化学療法	水　am 9:00 ～	井上　尚
呼吸器外科一般	木　am 9:00 ～	井上　尚

脳神経外科

□ 診療内容

脳血管障害（未破裂脳動脈瘤、巨大脳動脈瘤、脳動静脈奇形、モヤモヤ病、くも膜下出血、脳出血、脳梗塞など）…開頭手術、血管バイパス術、血管内治療、ガンマナイフ治療
脳腫瘍（神経膠腫、髄膜腫、聴神経腫瘍、下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫、脊索腫、軟骨肉腫、松果体腫瘍、眼窩内腫瘍、転移性脳腫瘍）…開頭手術、内視鏡手術（経鼻内視鏡、開頭、脳室鏡）、ガンマナイフ治療
脊椎脊髄疾患（変形性頚椎症、後縦靭帯骨化症、椎間板ヘルニア、脊髄腫瘍、脊髄空洞症、脊髄動静脈奇形、腰椎分離・すべり症など）…後方手術、前方手術、内固定術、血管内治療など
機能的脳神経外科（難治性てんかん、顔面けいれん、三叉神経痛、パーキンソン病、癌性疼痛）…開頭手術、定位的手術、ガンマナイフ治療
先天奇形（水頭症、二分脊椎、二分頭蓋、キアリ奇形など）…脳室腹腔短絡術など
頭部外傷…穿頭術、開頭術など

□ 特徴・特色

脳血管障害、頭部外傷、脊髄脊椎外傷を含め、腫瘍、てんかんなど脳神経外科の全分野の疾患に専門体制で対応しております。各分野に手術経験豊富なスタッフを配備し、幅広い疾患に安全な治療を提供します。毎日カンファレンスと回診を行い全スタッフ間での合意のもと治療方針を決定しております。私達の手術等件数は、全国80医科大学病院の中でも屈指の規模です。PETをはじめとした最新の診断設備、**ガンマナイフ**などの定位放射線治療設備、**術中ナビゲーション**・電気生理学的モニタリング装置・術中血管撮影装置・神経内視鏡などの手術支援装置を最大限に活用し、緻密な診断・手術計画に基づいた安全性の高い手術・治療をおこなっています。

脳血管障害に対しては脳卒中専門医４名を含む全科体制で臨み、脳卒中センターならびに救命救急センターとの連携のもと急性期に万全の対応をしております。未破裂脳動脈瘤・脳血管狭窄などに対する予防的治療も含め、開頭手術のエキスパートと血管内治療の専門スタッフが共同で治療にあたります。日本脳神経血管内治療学会の研修施設として認定されており、最先端のデバイスを用いた血管内治療にも取り組んでおります。**脳腫瘍**の集学的治療は強力な分野で、放射線科、血液内科、小児科、県立がんセンターと密に連携しながら、最新かつ最良の治療を提供します。聴神経腫瘍などの良性脳腫瘍に対しても、経験豊富な専門スタッフが信頼できる手術実績をあげています。下垂体、頭蓋底腫瘍に対する経鼻内視鏡手術も耳鼻科と合同で手術を行い、低侵襲な治療を心がけています。**脊椎脊髄疾患**は全国的な評価を確立しており、累積手術数は国内最大規模を誇ります。日本脊髄外科学会の訓練指導施設となっています。頚椎、腰椎の病変に加えて、脊髄そのものの病変、ことに脊髄髄内腫瘍に対しても、モニタリングを駆使しつつ安全かつ適切な外科治療を提供しています。薬剤抵抗性の**難治性てんかん**に対しては、**PET**を含めた最新の画像診断と生理学的検査を駆使した診断・外科治療を行っており、発作消失もしくは軽減を得ています。また、てんかん専門医との協力により小児にも積極的に手術を行い、退行や精神運動発達遅延を改善させています。パーキンソン病（ふるえ、寡動、すくみ歩行）、本態性振戦（ふるえ）などの**不随意運動**に対しても最新の設備を整え、脳深部刺激を多数施行し、確実な治療効果をあげています。また三叉神経痛、顔面痙攣に対しても微小血管減圧術やガンマナイフなど安全な治療を行っています。小児の水頭症や二分脊椎などの奇形に対しても、学内の総合周産期母子医療センターと協力して専門スタッフが治療にあたります。

□ その他

おもな治療症例数（2023年度、一年あたり）
開頭脳動脈瘤クリッピング術等 30
開頭脳腫瘍摘出術等 77
内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 72
脊髄脊椎手術等 43
血管内治療 95
ガンマナイフ 187
治療件数・手術成績の詳細については私どものウエブサイトにて公表しておりますのでご覧下さい。

【ウェブサイト】
http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-m/noge/

回診、カンファレンス

以下のカンファレンスを行っております。他施設からのご参加を歓迎いたします。ご相談の症例などがありましたらお気軽にご参加下さい。

○カンファレンス	毎日	7:30am 症例・手術カンファレンス、病棟回診
○教室会	火	6:00pm 抄読会、学会発表予演・報告など
○脳卒中カンファレンス	水	4:00pm
○病理組織検討会	火	4:00pm

診療部長　阿久津博義
医局長　森永　裕介
外来医長　池田　剛
病棟医長　阿久津善光

外来受付電話番号　0282-87-2205

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	専門医
阿久津博義	教　授	脳腫瘍、下垂体腫瘍、頭蓋底腫瘍、聴神経腫瘍	＊1 ＊5 ＊7 ＊11
叶　秀幸	教　授	ガンマナイフ	＊1
宇塚　岳夫	准教授	脳腫瘍	＊1
黒川　龍	准教授	脊椎脊髄疾患、頭蓋底外科	＊1 ＊4
池田　剛	講　師	脳血管障害、血管内治療	＊1 ＊2 ＊8 ＊9
齊藤　克也	講　師	脳血管障害、血管内治療	＊1 ＊2 ＊7 ＊8 ＊9
柴尾　俊輔	講　師	脳腫瘍、頭蓋底腫瘍、聴神経腫瘍	＊1 ＊7 ＊8 ＊10
荒川　明子	助　教	頭部外傷、救急医療	＊1
森永　裕介	助　教	下垂体腫瘍、血管内治療	＊1 ＊3 ＊7 ＊11
阿久津善光	助　教	脳血管障害、血管内治療	＊1 ＊3 ＊8
角　拓真	助　教	脳腫瘍	＊1
本郷　剛	助　教	脳神経外科全般	＊1
河本　俊介	特任教授	脳血管障害、聴神経腫瘍	＊1 ＊8 ＊9
荻野　雅宏	非常勤講師	てんかん、スポーツ医学、機能的脳神経外科	＊1 ＊6 ＊8
増田　洋亮	非常勤講師	パーキンソン病、機能的脳神経外科	＊1 ＊12

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：一般社団法人　日本脳神経外科学会　脳神経外科専門医
＊2：特定非営利活動法人　日本脳神経血管内治療学会　脳血管内治療指導医
＊3：特定非営利活動法人　日本脳神経血管内治療学会　脳血管内治療専門医
＊4：一般社団法人　日本脊髄外科学会　指導医
＊5：一般社団法人　日本脊髄外科学会　認定医
＊6：一般社団法人　日本脳神経外傷学会　認定指導医
＊7：一般社団法人　日本神経内視鏡学会　技術認定医
＊8：一般社団法人　日本脳卒中学会　専門医
＊9：一般社団法人　日本脳卒中の外科学会　技術指導医
＊10：一般社団法人　日本脳卒中の外科学会　技術認定医
＊11：一般社団法人　日本内分泌学会　内分泌代謝専門医
＊12：一般社団法人　日本てんかん学会　専門医

□ 専門外来

必ずご予約ください　午前＝9:00 ～ 11:00am、午後2:00 ～ 4:00pm

下垂体・頭蓋底腫瘍	木	午前	阿久津博義
脳腫瘍	火・木・金	午前	火・金：宇塚岳夫、木：柴尾俊輔
ガンマナイフ	金	午前	叶秀幸
脳血管障害・血管内治療	月・火	午前	月：齊藤克也、火：池田剛
脊椎脊髄外科	月	午前・午後	黒川龍
てんかん	水	午前・午後（第1・3）	荻野雅宏
パーキンソン病	水	午後（第3）	増田洋亮（非常勤）
聴神経・頭蓋底腫瘍	木	午前	柴尾俊輔

整形外科

□ 診療内容

脊椎脊髄病の外科、関節（肩・股・膝・足など）の外科、上肢・手外科、スポーツ障害を中心として、整形外科全般の診療を行っています。この中にはリウマチ、骨軟部腫瘍、スポーツ外傷なども含まれますが、小児から高齢者まで幅広く診察しています。また、救急救命センターを通しての多発外傷も診療しています。

種市教授・稲見教授・森平准教授・高畑准教授を中心とした脊椎グループは、東京や神奈川のほか九州・関西・東北地方など遠方からの受診が増加しており、通常の頚椎・腰椎・胸椎疾患の手術に加え、脊柱側弯症や変性側弯の難易度の高い手術が急増しています。

富沢講師・関本講師を中心とした関節グループはリウマチセンター、スポーツグループとの兼任で多くの関節手術（肩・股・膝・足など）を担当しています。特に難易度の高い肩関節手術や人工関節置換術、人工関節再置換術は県内でもトップクラスの症例数です。

中山講師を中心とした上肢グループは、橈骨遠位端骨折や肘関節周辺疾患・外傷の手術を数多く行っています。

瓜田講師・山口講師を中心としたスポーツ整形グループは、肩・肘・膝等のスポーツ障害の治療を行っています。

□ 特徴・特色

整形外科領域の各疾患や外傷に対してその分野の専門医（整形外科学会認定専門医）が診療（診断・保存的治療・手術）を行っています。種市教授の目標は、超一流の治療を提供することであり、また医局としての使命と考えており、その実践に日夜努力しております。一般的な疾患・外傷も扱っておりますが、高度な手術を要する難治例にも積極的に挑戦しています。その治療成績は国内外から高い評価を受けており、遠方から患者さんが受診される理由となっています。

□ 外来

	月	火	水	木	金	土
午前	(脊椎) 高畑雅彦　准教授 菅藤智哉　医員 土井一雄　医員 (関節) 吉川勝久　講師 (手) 中山健太朗　講師	(脊椎) 新井秀和　医員 (関節) 山口雄史　講師 池田隆太郎　医員 苛原　航　医員 都丸哲平　医員 (手) 大髙遼太郎　医員	(脊椎) 種市　洋　教授 (予約のみ) 稲見　聡　教授 森平　泰　准教授 高畑雅彦　准教授 浅野太志　医員 髙田知史　医員 (関節) 柴　佳奈子　講師	(関節) 瓜田　淳　講師 知場一記　医員 (手) 中山健太朗　講師 (リウマチセンター・整形) 富沢一生　講師 関本巌雄　講師	(脊椎) 稲見　聡　教授 森平　泰　准教授 上田明希　講師 (スポーツ) 瓜田　淳　講師 (関節) 富沢一生　講師 山口雄史　講師 (手) 小曽根和毅　医員 (PM)	※1診［交代制］
午後 専門外来	＊種市教授へのご紹介の際は、お電話にて予約をお取り下さい。整形外科外来〔TEL：0282-87-2207（直通）〕 ＊初診をはじめ患者さんのご紹介をいただく場合は必ず事前に整形外科外来〔TEL：0282-87-2207（直通）〕までお問い合わせ下さい。					

整形外科入院患者さんの診療体制

病院の特徴から、手術による治療を行う患者さんだけが入院の対象となります。

●現在４つの診療グループ（脊椎、関節、上肢、スポーツ）があり、各グループは、その領域の専門知識と指導的診療能力を持った医師（整形外科学会認定専門医）が診療班長となり、その医師の指導のもとに診療を行っています。

●障害部位別あるいは疾患別によって適切なグループが担当しますが、初診にあってはその限りではありません。特に、紹介状を持参されないときはグループを指定することはできませんので、ご承知おきください。その場合にあっても、通常は次回から専門グループの診察に廻ることができます。

●治療方針は、担当した診療グループが治療計画を立て、それを全員の医師で検討する症例検討会に提出しそこで最終的に決まります。

●手術後の経過は各担当グループが退院まで観察し適時対応いたします。この間、教授回診や検討会で手術所見や術後結果が報告されチェックを受けます。

診療部長　種市（たねいち）　洋（ひろし）
医局長　富沢（とみざわ）　一生（かずお）
外来医長　高畑（たかはた）　雅彦（まさひこ）
病棟医長　瓜田（うりた）　淳（あつし）

外来受付電話番号　0282-87-2207

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	専門医
種市（たねいち）　洋（ひろし）	教　授	脊柱側弯症、変性腰椎・頚椎の外科、リウマチ頚椎	＊1
稲見（いなみ）　聡（さとし）	教　授	脊椎外科、脊柱側弯症	＊1
森平（もりだいら）　泰（ひろし）	准教授	脊椎外科、脊柱側弯症	＊1
高畑（たかはた）　雅彦（まさひこ）	准教授	脊椎外科、脊柱靱帯骨化症、骨粗鬆症	＊1
富沢（とみざわ）　一生（かずお）	講　師	股関節外科、膝関節外科、リウマチ性疾患	＊1
瓜田（うりた）　淳（あつし）	講　師	スポーツ整形外科	＊1
山口（やまぐち）　雄史（ゆうじ）	講　師	スポーツ整形外科	＊1
中山健太朗（なかやまけんたろう）	講　師	手外科、上肢外科	＊1
関本（せきもと）　巌雄（いわお）	講　師	股関節外科、膝関節外科、リウマチ性疾患	＊1
菅藤（かんとう）　智哉（ともや）	助　教	脊椎外科	＊1
髙田（たかだ）　知史（さとし）	助　教	脊椎外科	＊1
土井（どい）　一雄（かずお）	助　教	脊椎外科	＊1
苛原（いらはら）　航（わたる）	助　教	関節外科、外傷一般	＊1
大髙遼太郎（おおたかりょうたろう）	助　教	手外科、上肢外科	＊1
都丸（とまる）　哲平（てっぺい）	助　教	関節外科、外傷一般	＊1
菊池（きくち）　佑実（ゆみ）	助　教	整形外科、外傷一般	
菊地（きくち）　優貴（ゆうき）	レジデント	整形外科、外傷一般	
北村（きたむら）　大樹（だいき）	レジデント	整形外科、外傷一般	
篠﨑（しのざき）　歩（あゆみ）	レジデント	整形外科、外傷一般	

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：公益社団法人日本整形外科学会 整形外科専門医

□ その他

担当医全員で行う症例検討会と各専門分野の担当医で行う検討会が行われています。参加を希望する先生は連絡下さい。詳細を連絡いたします。

	曜　日	時　間	場　　所
手術患者症例検討会	水曜日	午前７時30より	新館５階病棟整形外科カンファランスルーム
脊椎班症例検討会	火曜日	午後６時より	整形外科研究室
関節班症例検討会	月曜日	午後６時より	整形外科研究室
上肢班症例検討会	月曜日	午後５時より	整形外科研究室

泌尿器科

□ 診療内容

当泌尿器科では、特定機能病院およびがん治療拠点病院としての獨協医科大学病院の社会的使命を鑑み、1)先進医療、2)地域連携、3)チーム医療を積極的に推進しつつ、泌尿器科全般の診療を行っています。泌尿器科は主として後腹膜腔・骨盤腔に存在する臓器（副腎、腎、尿路系）及び男子生殖器を診療対象にしており、それら臓器およびその周囲組織の腫瘍学、排尿学、結石学、男性・生殖学、感染症学、救急・外傷学、機能障害等を担当しています。

外来での一般外来は３～４人の医師が担当しています。また、下記の専門外来を開いています。入院患者さんへの診療は、手術療法および化学療法が主体となります。

□ 特徴・特色

最新の知識や技術・設備の提供だけではなく、ガイドラインやEBM（臨床効果が認められた治療）に基づく医療を中心とし、低侵襲手術、先進医療、がんの集学的治療を積極的に行っています。

低侵襲手術としては、早期がんおよび良性腫瘍（副腎腫瘍、腎腫瘍、腎盂尿管がん、前立腺がん）に対して、腹腔鏡下手術（後腹膜鏡下および単孔式LESS）と腹腔鏡下小切開手術（MIES）を積極的に行っており、現在では、年間約100件の実績があります。これらの手術では、手術翌日から飲水と歩行が可能となり、早期退院につながります。また、排尿障害（前立腺肥大症や尿失禁等）や尿路結石に対しても、低侵襲治療を行い良好な手術成績を収めています。さらに2012年10月より、早期前立腺がんに対し、2016年4月より、早期腎がんに対し、2021年6月より、浸潤性膀胱癌に対し、2022年4月より、副腎腫瘍、腎盂尿管がんに対し、da Vinciサージカルシステムを用いたロボット支援手術を開始し、こちらも良好な手術成績を収めており、現在は年間約230件以上の実績があります。現在、低侵襲手術の主流はロボット支援手術へと変化してきており、その潮流を患者さんに提供することを当科の社会的責務としています。

また、個々の患者さんの病状・病態にできるだけ適合させた治療の可能性を模索すべく、院内の倫理委員会や治験委員会の承諾を得て、他大学・施設との共同臨床研究にも積極的に参画しています。

がん（特に進行がん）の集学的治療に対しては、病気そのものに対する手術・化学薬物・放射線治療に加え、全人的医療の見地から、緩和医療（痛みの軽減）や精神的医療（癌に対する精神的不安の軽減）や高額医療等の不安に対してのサポート体制を構築しており、各領域の専門の医師や看護師や事務職と連携をとりながら治療に当たっています。

□ 専門外来

尿路結石外来（体外衝撃波治療）	木曜日午後（福田助教）
化学療法外来	土曜日午前　木島講師
セカンドオピニオン外来（適宜）	釜井（腎細胞癌、副腎腫瘍、後腹膜腫瘍）
	安士（前立腺癌）
	木島（膀胱癌、腎盂尿管癌、精巣癌）

□ その他

特に紹介していただきたい疾患

高血圧や糖尿病の精査中にたまたま見つかった偶発腫瘍：
（多くが腹腔鏡下手術や腹腔鏡下小切開手術の適応となります）
進行性がん・難治性がん：
（集学的治療の対象となります）
血清PSA値が3.0～10.0 ng/ml：
（前立腺がんの早期発見につながり、治療の選択肢が増えます）
排尿障害・尿失禁：
（高度の集学的治療が可能です）
LOH症候群（加齢性性腺機能低下症候群）：
（多くがホルモンの補充療法の適応となります）

診療部長	釜井　隆男
医局長	木島　敏樹
外来医長	安士　正裕
病棟医長	木島　敏樹

外来受付電話番号　0282-87-2208

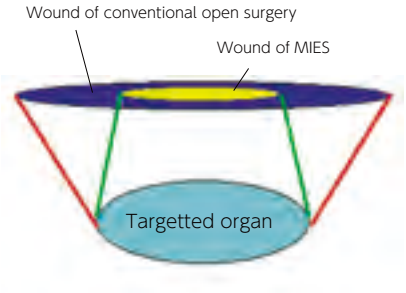
□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	専門医
釜井　隆男	教　授	泌尿器外科学	泌尿器疾患の外科的治療、腎細胞癌、後腹膜腫瘍	＊1
安士　正裕	教　授	泌尿器外科学	前立腺癌、前立腺肥大症	＊1
木島　敏樹	講　師	泌尿器外科学	膀胱癌、前立腺癌	＊1
別納　弘法	講　師	泌尿器外科学	泌尿器腫瘍	＊1
福田　武彦	非常勤助教	泌尿器外科学	泌尿器科全般	
武井　航平	助　教	泌尿器外科学	泌尿器科全般	＊1
戸倉　祐未	助　教	泌尿器外科学	泌尿器科全般	＊1
植松　稔貴	助　教	泌尿器外科学	泌尿器科全般	＊1
国分　英利	助　教	泌尿器外科学	泌尿器科全般	＊1
大久保尚弥	助　教	泌尿器外科学	泌尿器科全般	＊1
倉科　　凌	助　教	泌尿器外科学	泌尿器科全般	＊1
岡﨑　明仁	助　教	泌尿器外科学	泌尿器科全般	
古藤野茉莉子	レジデント	泌尿器外科学	泌尿器科全般	
稲葉　咲葵	レジデント	泌尿器外科学	泌尿器科全般	
窪田　晴香	レジデント	泌尿器外科学	泌尿器科全般	
藤田　素輝	レジデント	泌尿器外科学	泌尿器科全般	

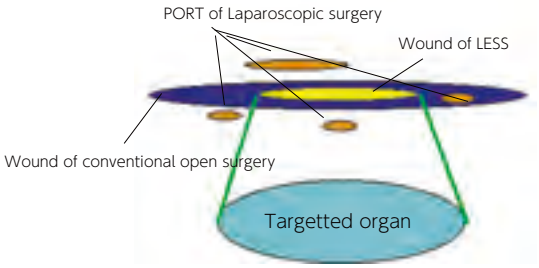
＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：一般社団法人　日本泌尿器科学会　泌尿器科専門医

MIESは肉眼的な直視とモニター画面を見ながら手術を行う。



後腹腔鏡下手術および単孔式腹腔鏡下手術はモニター画面のみを見ながら手術を行う。



da Vinci サージカルシステムを用いたロボット支援前立腺全摘術

眼科

□ 診療内容

午前の外来診療は一般外来として、眼科疾患全般及び紹介患者さんを対象に診察を行っています。午後は専門外来が中心となり、曜日ごとに屈折矯正、ぶどう膜炎、未熟児網膜症、角膜疾患、斜視弱視、白内障・水晶体疾患などの難治および重症疾患を対象として診断、治療を専門医が担当して行っています。

□ 特徴・特色

当科では、重症疾患、救急疾患、外傷および手術適応疾患について、迅速かつ慎重に対応し、患者さん中心の診療体系を確立し、地域医療に貢献できるよう努力をしております。獨協医大眼科の理念として「良質で安全・安心な医療の提供、協調と納得の医療、向上を目指し切磋琢磨、見ることへの挑戦」をあげ、医療の質だけではなく心のこもった医療が行えるように、文字どおり切磋琢磨しております。

□ 専門外来

クロスリンキング外来（伊藤、高橋（鉄））月曜日
対応疾患…円錐角膜など
PTK外来（伊藤、高橋（鉄））月曜日
対応疾患…近視矯正、乱視矯正、角膜混濁疾患（PTK）など
ぶどう膜外来（鈴木（重）、高山）火曜日
対応疾患…各種ぶどう膜炎（サルコイドーシス、ベーチェット、原田病など）
ロービジョン外来（鈴木（重））火曜日
未熟児・小児眼科・NICU外来（石井、山﨑、鈴木（幹））水曜日
対応疾患…未熟児網膜症、先天白内障など
黄斑部外来（須田、岡安）水曜日
対応疾患…加齢黄斑変性症、黄斑円孔、黄斑前膜、黄斑浮腫など
斜視・弱視外来（早津、宮下、武村、山﨑、新井）木曜日
対応疾患…斜視、弱視、小児神経眼科疾患など
角膜外来（妹尾、伊藤、千葉（矩）、高山）金曜日
対応疾患…全層角膜移植、深部表層角膜移植、角膜内皮移植、輪部移植、羊膜移植、コンタクトレンズ、ドライアイなど
涙道外来（古藪、高橋（鉄））金曜日
対応疾患…鼻涙管狭窄症など
眼瞼外来（横塚）金曜日
対応疾患…眼瞼疾患（麦粒腫・散粒腫・マイボーム腺梗塞など）

※午後の外来は基本的に予約のある患者さんのみ診察を行っています。（救急疾患の患者さんは順次受け付けております。）

□ 診療実績

術後成績は網膜剥離復位率約98％、黄斑円孔閉鎖率約98％などと良好な成績を得ています。昨年の眼科手術件数は約2,400件で、内訳は白内障、網膜剥離、増殖糖尿病性網膜症、黄斑疾患（円孔、前膜、血腫）、角膜移植、緑内障手術、斜視手術、腫瘍、（眼瞼および結膜・眼窩および眼内）、眼瞼下垂などです。黄斑外来では硝子体注射ならびにPDT（光線力学的療法）を積極的に導入して治療に取り組んでおります。また、内皮移植用のケラトームを導入し国内ドナー角膜による角膜内皮移植（DSAEK）、フェムトセコンドレーザーによる角膜手術などを積極的に取り組んでおります。

角膜移植：先端技術の羊膜移植や深層表層角膜移植（DALK）、角膜内皮移植（DSAEK）、フェムトセコンドレーザーアシスト移植（IEK）をはじめ、全ての角膜移植が可能です。角膜の供給は全国でもトップクラスです。
屈折矯正手術：エキシマレーザーによるレーザー治療的角膜切除術（PTK）が可能となっています。
白内障手術：難症例の白内障手術にも対応しています。また、白内障短期入院設備も備えています。
網膜硝子体手術：最新の手術機器・顕微鏡をそろえ、一般病院では対応困難な網膜剥離、増殖性網膜症、黄斑下出血、眼外傷、眼内炎などの難症例にも対応できます。
眼瞼・涙道手術：腫瘍、鼻涙管閉塞、眼瞼下垂など眼付属器に対しての手術にも対応しています。
斜視手術：外斜視、内斜視、上下斜視に対する手術のほか、斜筋手術や筋移動術にも対応しています。

診療部長　妹尾（せのお）　正（ただし）

医局長　山﨑（やまざき）　駿（しゅん）

外来医長　千葉（ちば）　矩史（のりふみ）

病棟医長　千葉（ちば）　矩史（のりふみ）

外来受付電話番号　0282-87-2209

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域
妹尾（せのお）　正（ただし）	教　授	眼科全般、角膜、網膜硝子体	角膜移植
松島（まつしま）　博之（ひろゆき）	准教授	眼科全般、白内障、網膜硝子体	水晶体
永田万由美（ながたまゆみ）	准教授	眼科全般、白内障、網膜硝子体	水晶体
鈴木（すずき）　重成（しげなり）	講　師	眼科全般、ぶどう膜	ぶどう膜疾患
伊藤（いとう）　栄（さかえ）	講　師	眼科全般、角膜、屈折矯正、白内障	屈折矯正
千葉（ちば）　矩史（のりふみ）	助　教	眼科全般、角膜、網膜硝子体	角膜疾患
高橋（たかはし）　鉄平（てっぺい）	助　教	眼科全般、涙道疾患	涙道疾患
石井洋次郎（いしいようじろう）	助　教	眼科全般、ぶどう膜、角膜	角膜疾患
武村（たけむら）　千紘（ちひろ）	助　教	眼科全般、斜視弱視、白内障、小児眼科	斜視弱視
横塚（よこつか）　奈央（なお）	助　教	眼科全般、白内障	眼瞼疾患
古藪幸貴子（こやぶさきこ）	助　教	眼科全般、白内障	涙道疾患
岡安（おかやす）　彬彦（あきひこ）	助　教	眼科全般、白内障	水晶体
山﨑（やまざき）　駿（しゅん）	助　教	眼科全般、白内障	水晶体
新井亜由美（あらいあゆみ）	助　教	眼科全般	
小野（おの）　優（ゆう）	助　教	眼科全般、眼瞼疾患	
高山（たかやま）　朋子（ともこ）	助　教	眼科全般、白内障	
鈴木（すずき）　幹崇（みきたか）	助　教	眼科全般	
松本（まつもと）はるか	レジデント	眼科全般	
輿石（こしいし）　侑花（ゆか）	レジデント	眼科全般	
中野（なかの）　正也（まさや）	レジデント	眼科全般	
藤沢（ふじさわ）　哲至（てつし）	レジデント	眼科全般	
千葉（ちば）　桂三（けいぞう）	非常勤講師	眼科全般、角膜、屈折矯正、斜視弱視	角膜疾患
高橋（たかはし）　佳二（けいじ）	非常勤講師	眼科全般、網膜硝子体、眼瞼、涙器	
須田（すだ）　雄三（ゆうぞう）	特任准教授	眼科全般、網膜硝子体、黄斑部疾患	黄斑疾患
早津（はやつ）　宏夫（ひろお）	非常勤講師	眼科全般、斜視弱視	
宮下（みやした）　博行（ひろゆき）	非常勤助教	眼科全般、斜視弱視、白内障、小児眼科	斜視弱視
岸本（きしもと）　尚人（ひさと）	非常勤助教	眼科全般、先天白内障、コンタクト	
荒川（あらかわ）　恭子（きょうこ）	非常勤助教	眼科全般	

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

□ その他

主な医療設備

外来診察用細隙灯顕微鏡（9台）、病棟診察用細隙灯顕微鏡（5台）、入院施設（ベット数42）、スペキュラーマイクロスコープ、レーザーフレアセルメーター、ビジュアルフィールドアナライザー、スキャニングレーザーオフサルモスコープ、エキシマレーザー、フェムトセコンドレーザー、内皮移植用ケラトーム、白内障手術装置（手術室2台）、硝子体手術装置（2台）、超音波診断装置、眼底レーザー装置、PDT（黄斑用）レーザー装置、YAGレーザー装置、デジタル眼底カメラ、前眼部解析装置、前眼部OCT、OCTアンギオグラフィー、ノンコンタクトトノメーター、その他

耳鼻咽喉・頭頸部外科

□ 診療内容

耳鼻咽喉・頭頸部外科の守備範囲は非常に広く、耳・鼻・咽頭喉頭疾患はもとより頭頸部腫瘍や甲状腺・副甲状腺疾患も含まれます。さらに当科では院内の内視鏡センターを活用し、上部消化管や呼吸器疾患にも対応した診療体制を整えています。

患者さん一人ひとりのニーズに応えるべく、専門的かつ包括的な診療を実践しています。特定機能病院ならではの診療体制で、地域医療に貢献しております。

□ 特徴・特色

1）鼻副鼻腔疾患：高難易度症例に対してもナビゲーションシステムの支援により、術中リアルタイムに鼻副鼻腔の形態を正確に把握することで、安全性の高い内視鏡下鼻副鼻腔手術を行っています。また、頭蓋底腫瘍に対して低侵襲の経鼻内視鏡下頭蓋底手術を脳神経外科と協力して積極的に行っています。花粉の定点観測を行い、花粉の飛散状況、飛散数予測に基づいたスギ花粉症を含む鼻アレルギーの薬物療法、免疫療法および手術療法による総合的な治療を行っています。

2）耳科疾患：慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、耳小骨奇形などに対し、豊富な治療経験を有します。

3）頭頸部腫瘍：甲状腺や唾液腺も含めた幅広い頭頸部悪性腫瘍の治療を行っています。進行がんには、形成外科と協力して再建手術を行うなど、機能温存手術に積極的に取り組んでいます。

4）咽喉頭疾患：内視鏡検査、嚥下機能検査、音響分析などを積極的に行い、咽喉頭の質的ならびに機能的評価を行っています。

5）睡眠呼吸障害：睡眠医療センターおよび県内他施設とも連携し、成人および小児の睡眠呼吸障害の診断と、手術適応を含めた治療方針の決定を行っています。また、舌下神経電気刺激療法を行っています。

□ 診療体制

各診療日とも5～6名の担当医師が診療にあたっています。また、日本気管食道科学会、日本アレルギー学会の各専門医や、がん治療認定医も診療にあたっています。

病棟では10名の医師が2チームに分かれて診療し、夜間休日を除いて急患の受け入れに対応できる体制をとっています。入院中は、クリニカルパスを併用することで医療安全の向上と診療の効率化を図っています。

□ 主な医療設備

ナビゲーションシステム、聴性脳幹反応検査、聴性定常反応検査、電気眼振図検査、他

□ 診療実績（2023年度）

手術件数	2023年度の総手術件数は手術総数2,154件 内訳（外来小手術含む、重複あり） 鼓室形成術、乳突洞削開術など：　193件 内視鏡下鼻副鼻腔手術など：　1,254件 口蓋扁桃摘出術、喉頭微細手術など口腔咽喉頭手術：212件 唾液腺腫瘍手術、甲状腺腫瘍手術、頸部悪性腫瘍手術など頭頸部手術：337件 そのほか：　158件
外来患者数	2023年度の総外来患者数　34,014名 （うち新患2,234名） 1日平均121.4名
入院患者数	2023年度の入院延患者数12,186名 1日平均33.2名

□ 専門外来

○鼻副鼻腔嗅覚外来　毎週金曜日午後
　担当医　中山、柏木、常見
○小児難聴外来　毎週水曜日午後
　担当医　滝瀬、増山
○睡眠呼吸障害外来　毎週月、火曜日午後
　担当医　中島（逸）、今井
○アレルギー外来　毎週月曜日午後
　担当医　今野
○めまい外来　毎週木曜日午後
　担当医　添田（一）、滝瀬、吉田
○声の外来（音声外来）毎週金曜日午後
　担当医　生野、吉田
○内視鏡外来　毎週火曜日午後
　担当医　平林、今井、阿久津
○嚥下障害外来　毎週木曜日午後
　担当医　後藤、小泉
○耳術後外来　毎週金曜日午後
　担当医　深美
○腫瘍外来　毎週月曜日午後
　担当医　平林、今野

診療部長　中山　次久
医局長　柏木　隆志
外来医長　中島　逸男
病棟医長　今野　渉

外来受付電話番号　0282-87-2210

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	専門医
中山　次久	教　授	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、鼻副鼻腔疾患、鼻アレルギー	＊1 ＊4
春名　眞一	名誉教授	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、鼻副鼻腔疾患	＊1 ＊4
平林　秀樹	特任教授	耳鼻咽喉科	頭頸部腫瘍、気管・食道異物、音声言語障害	＊1 ＊2
深美　悟	教　授	耳鼻咽喉科	中耳疾患、小児補聴器、小児難聴	＊1 ＊7
中島　逸男	准教授	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、睡眠呼吸障害	＊1 ＊5
今野　渉	講　師	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、頭頸部腫瘍、鼻アレルギー	＊1 ＊2 ＊3 ＊4
柏木　隆志	助　教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、鼻副鼻腔疾患	＊1
常見　泰弘	助　教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	＊1
阿久津　誠	助　教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	＊1
永島　祐美	助　教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	＊1
今井　貫太	助　教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	＊1
滝瀬由吏江	助　教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	＊1
増山　由丹	助　教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	＊1
小泉　舜	助　教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	
吉田健太郎	助　教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	
稲葉　護	レジデント	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	
添田　弘之	レジデント	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	
岩瀬　朗子	非常勤講師	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、鼻アレルギー	＊1
添田　一弘	非常勤講師	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、めまい	＊1
後藤　一貴	非常勤講師	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、嚥下機能障害	＊1 ＊2
生野　登	非常勤助教	耳鼻咽喉科	気管食道科一般、音声言語障害	＊1 ＊2
宗田　由美	非常勤助教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	＊1 ＊2
豊田　由香	非常勤助教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、鼻アレルギー	＊1
内藤　文明	非常勤助教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、鼻アレルギー	＊1
山川　秀致	非常勤助教	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般、鼻副鼻腔疾患	＊1
蒲　伸泰	医　員	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	＊1

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：一般社団法人　日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会　日本専門医機構認定　耳鼻咽喉科専門医
＊2：特定非営利活動法人　日本気管食道科学会　気管食道科専門医
＊3：日本頭頸部外科学会　頭頸部がん専門医
＊4：一般社団法人　日本アレルギー学会　アレルギー専門医
＊5：日本睡眠学会　睡眠医療認定医
＊6：暫定鼻科指導医
＊7：暫定耳科指導医

特に紹介していただきたい疾患

耳：慢性化膿性中耳炎、真珠腫性中耳炎、難治性中耳炎、コレステリン肉芽腫、他
鼻：慢性鼻副鼻腔炎、好酸球性鼻副鼻腔炎、鼻アレルギー、副鼻腔腫瘍（良性、悪性）、眼窩壁骨折、鼻中隔弯曲症、他
咽頭：咽喉頭炎、上・中・下咽頭腫瘍、睡眠時無呼吸症候群、他　喉頭：声帯ポリープ、喉頭軟弱症、喉頭腫瘍（良性、悪性）、嚥下障害、他
頸部：甲状腺疾患、気管・気管支疾患、食道疾患、顎下腺疾患、耳下腺疾患、他

産科婦人科

□ 診療内容

産科婦人科は、婦人科腫瘍・周産期・生殖内分泌・女性医学と幅広い領域を扱いますが、当科はそれぞれの領域の専門医が在籍し専門的な医療を提供しています。

・婦人科腫瘍分野では、がんの地域拠点病院として、合併症を有する患者さんを積極的に受け入れ、外科・泌尿器科をはじめ複数診療科と連携しながら診療にあたっています。
・女性医学では、ホルモン治療を中心とした若い方の卵巣機能不全から、更年期障害、骨粗鬆症や動脈硬化への対応まで行います。思春期から更年期・老年期まで、quality of lifeの向上を目標に治療をしています。
・生殖内分泌分野では、月経困難症・無月経・多嚢胞性卵巣症候群・ホルモン異常に対し、ホルモン負荷試験や薬物療法を行います。また流産を繰り返すいわゆる不育症の検査・治療や、性分化異常や先天奇形の検査・手術療法を行っています。
・周産期分野では、小児科・新生児科と協力しながら総合周産期母子医療センターの一端をにない、県下全域からのハイリスク妊娠、産科救急症例の母体搬送をNICUとの連携協力のもと全ての妊娠週数で引き受けています。また、遺伝性疾患のカウンセリングや出生前診断のご相談にも応じています。

対象疾患

婦人科良性腫瘍：子宮筋腫、卵巣腫瘍
婦人科悪性腫瘍：子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、卵管がん、外陰がん、腟がん、絨毛がん
妊娠・分娩管理：妊婦健診、合併症妊娠管理、周産期感染症、遺伝相談、新型出生前遺伝学的検査
婦人科内分泌疾患：先天異常、月経異常、子宮内膜症、不妊・不育症
女性医学：先天奇形、思春期・中高年期の健康管理
その他：性感染症など

□ 特徴・特色

婦人科腫瘍

1. 子宮頸がん：上皮内がん、初期浸潤がんに対して子宮温存治療（円錐切除術）を行っています。ループ式電気円錐切除による日帰り治療も行っています。浸潤がんでは手術療法や放射線治療（放射線科と共同）を行っています。
2. 子宮体がん：早期例ではロボット支援下の低侵襲手術を行っています。また、妊娠を希望する若年患者さんに対して妊孕性温存療法(ホルモン治療）を積極的に行っています。
3. 卵巣がん：外科・泌尿器科と共同で積極的に拡大手術を行っています。進行・再発例にはがんゲノム検査も導入しています。
4. 子宮筋腫・子宮腺筋症：マイクロ波子宮内膜アブレーション（MEA）や、子宮動脈塞栓術（UAE）も導入しています。UAEは適応を確認した上で、放射線科に依頼して行っています。
5. 良性腫瘍（卵巣嚢腫や子宮筋腫など）：腹腔鏡やロボット支援下の低侵襲手術を導入しています。子宮筋腫や内膜ポリープに対し子宮鏡下手術を行っています。
6. 遺伝性乳癌卵巣がんの方に、予防的卵巣・卵管切除を行っています（遺伝カウンセリングが必要です）。遺伝性腫瘍未発症者の婦人科サーベイランスを行っています。

女性医学

1. 思春期外来では月経異常、思春期早発症などの内分泌異常、避妊相談に対応しています。また先天性ないしは悪性腫瘍治療後の卵巣機能低下に対するホルモン治療も女性医学専門医により行っています。
2. 中高年外来では、更年期障害、骨粗鬆症、高脂血症、尿失禁などに対して、ホルモン補充療法、漢方療法に加えメンタルケアを含めた女性の生涯ケアを目的とした管理・治療を行っています。

生殖内分泌

1. 不妊治療は当院リプロセンターで対応しています。
2. 習慣流産などの不育症についての検査治療を行っています。
3. 月経困難症・無月経・多嚢胞性卵巣症候群・ホルモン異常などの検査・治療を行っています。

周産期

1. 総合周産期母子医療センターでは年間約500件の分娩を取り扱い、県内および近県から母体搬送、ハイリスク妊婦を常時引き受けています。2018年4月より、バースセンターが開設され、助産師によりローリスク妊婦の妊娠・分娩管理及び産後ケアを開始しました。
2. 産科危機的出血に対して、症例を選択して放射線科医による出血原因血管の塞栓術を行ったり、薬物療法や輸血、各種新規器材を用いたり、緊急手術を行うなど救急科とも連携して集学的に対応します。
3. 日本超音波医学会認定指導医・専門医による胎児診断を行っています。
4. 遺伝外来では、臨床遺伝専門医による遺伝カウンセリング、出生前遺伝学的検査の相談や検査、薬剤催奇形性、遺伝性腫瘍などの相談を行っています。

診療部長（婦人科）	三橋　暁
診療部長（産　科）	成瀬　勝彦
医局長	久野　達也
外来医長	添田わかな
病棟医長（婦人科）	河原井麗正
病棟医長（産　科）	多田　和美

外来受付電話番号　0282-87-2211

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	認定医・専門医
三橋　暁	教　授	婦人科腫瘍	婦人科悪性腫瘍・ロボット手術	＊1,2,4,5,7,8
成瀬　勝彦	教　授	周産期・臨床遺伝	ハイリスク妊娠・出生前診断	＊1,3,6,9
尾林　聡	教　授	女性医学	更年期・末梢循環	＊1,4,10
柴田　英治	教　授	周産期	ハイリスク妊娠	＊1,3
多田　和美	講　師	周産期	ハイリスク妊娠	＊1,3
河原井麗正	講　師	婦人科腫瘍・生殖内分泌・臨床遺伝	婦人科悪性腫瘍・腹腔鏡手術	＊1,3,4,5,6,7,11,12,13
添田わかな	助　教	女性医学	思春期・更年期医学・骨粗鬆症	＊1,4,10
久野　達也	助　教	産科婦人科	産婦人科全般	＊1
加藤　祥子	助　教	産科婦人科	産婦人科全般	＊1
廣瀬　雅紀	助　教	産科婦人科	産婦人科全般	＊1
海寶　望	レジデント	産科婦人科	産婦人科全般	
岩崎　健太	レジデント	産科婦人科	産婦人科全般	
河津　雄太	レジデント	産科婦人科	産婦人科全般	
鷺　瑞月	レジデント	産科婦人科	産婦人科全般	
佐久間彗輔	レジデント	産科婦人科	産婦人科全般	
中村　響	レジデント	産科婦人科	産婦人科全般	
（以下非常勤）				
渡辺　博	特任教授	周産期・臨床遺伝	超音波診断	＊1,3,6
望月　善子	特任教授	生殖内分泌・女性医学	神経内分泌・思春期更年期	＊1,4,10
吉仲　昭	非常勤医	産科婦人科	産婦人科全般	＊1
柳田　充雄	非常勤医	産科婦人科	産婦人科全般	＊1
小田　華	非常勤医	産科婦人科	産婦人科全般	＊1
若井　香織	非常勤医	産科婦人科	産婦人科全般	＊1

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：産婦人科専門医
＊2：婦人科腫瘍専門医
＊3：周産期(母体・胎児)専門医
＊4：女性ヘルスケア専門医
＊5：細胞診専門医
＊6：臨床遺伝専門医
＊7：がん治療認定医
＊8：ロボット外科学会専門医（国内B級）
＊9：超音波専門医
＊10：女性心身医学専門医
＊11：生殖医療専門医
＊12：内分泌代謝科（産婦人科）専門医
＊13：婦人科内視鏡技術認定医

□ 専門外来

腫瘍外来　（月・水・金）
ハイリスク妊娠外来　（火・木）
思春期・更年期外来　（水・金）

□ その他

ご協力のお願い

・当科では１年以上外来を受診されていない方には、紹介状のご持参をお願いしております。
患者さんをご紹介の際には、どうぞご協力の程、宜しくお願い申し上げます。
・初診は予約制とさせていただいており、緊急を要する患者さんの紹介の際は電話での問い合せをお願い致します。

口腔外科

□ 診療内容

下記のような歯科・口腔外科疾患に対し診療を行っています。○口腔・顎顔面領域の腫瘍性疾患（悪性腫瘍、良性腫瘍、腫瘍類似病変）　○唇顎口蓋裂　○顎変形症　○口腔・顎・顔面領域の感染･炎症　○口腔･顎･顔面外傷　○顎関節疾患（顎関節症、脱臼、強直症など）　○口腔粘膜疾患　○歯科インプラント・造骨手術　○唾液腺疾患（腫瘍、唾石症、口腔乾燥症、シェーグレン症候群）　○顎顔面補綴　○有病者・障がい者歯科疾患　○口腔ケア　○睡眠時無呼吸症に対するオーラルスプリント作製、上下顎前方移動術（要医科からの依頼）　○口腔領域のアレルギー疾患（花粉食物関連アレルギー症候群：PFAS、口腔扁平苔癬など）　○歯科矯正治療（唇顎口蓋裂、顎変形症）

□ 診療体制

日曜日と第３土曜日（および病院規定の休診日）を除く毎日、初診患者さんを受け付けます（初診受付時間は病院規定に従います）。受診に当たっては、完全紹介制とさせていただいておりますので、かかりつけ医等からの紹介状をご持参ください。また必要に応じて、救急患者さんは24時間体制で対応しています。

□ 特徴・特色

1. 日本口腔外科学会の指導医、専門医、認定医のほか、各学会の指導医・専門医が多数在籍しています。また各学会の研修施設にも認定されています。
2. 悪性腫瘍外来、唇顎口蓋裂外来、歯科矯正治療（唇顎口蓋裂、顎変形症に対する）外来などの専門外来を設置しています。
3. 入院病床を14床備えており、全身麻酔手術症例だけでなく、局所麻酔・静脈内鎮静法手に対する検査等を目的とした入院対応も可能です。
4. 歯科麻酔医による静脈内鎮静法下での手術（入院･外来）も対応しています。
5. 口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍に対する集学的治療：早期診断、早期治療を念頭に対応。手術療法を主体に、他科とも連携しながら放射線治療、化学療法（分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬を含む）を組み合わせて、良好な治療成績を得ています。過去14年間の口腔扁平上皮癌１次手術症例の５年累積生存率はStage0：100.0　%、Stage1：81.5　%、Stage2：88.4　%、Stage3：85.0　%、Stage4a：66.3　%、Stage4b：80.0％と極めて高い治療水準でした。また腫瘍制御だけでなく、機能や審美面を考慮した治療を行い、QOLの維持・回復にも努めています。手術症例では、形態・機能回復を目的とした血管柄付き遊離皮弁再建を形成外科と連携し行っています。
6. 唇顎口蓋裂への一貫治療：出生直後から成人に至るまで、当科での一貫治療が可能です（ホッツ床作製、口唇形成術、口蓋形成術、歯科矯正医による動的治療、顎裂部骨移植術、上下顎骨骨切り術、口唇鼻修正術、咽頭弁形成術など）。また言語療法や滲出性中耳炎などに対しては、関係各科と連携し治療を行っています。
7. 口腔・顎・顔面外傷の治療：迅速な初期対応のうえ、手術適応症例に対しては早期手術を実施しています。骨折に対しては、骨折部の治癒だけでなく、口腔外科として咬合機能の回復を念頭に置いた治療を行っています。
8. 歯科インプラント治療：腫瘍・外傷による顎欠損症例に対する広範囲顎骨支持型補綴だけでなく、難症例に対する増骨（サイナスリフト､GBR）手術も対応しています。また再生医療として関係法制を遵守し、PRP（多血小板血漿）療法も行っております。
9. 口腔ケア：医学部付属病院における口腔外科として、周術期や化学療法・放射線治療、移植医療を受ける患者さんに対する口腔ケアにも積極的に取り組んでいます。
10. 顎変形症・睡眠時無呼吸症に対する外科的矯正治療：顎変形症に対する外科的手術を併用した顎矯正治療を行なっております。これらの治療は歯科矯正を専門とする歯科医院とも連携して治療を行なっております。また、院内・院外の内科・耳鼻咽喉科と連携しつつ、睡眠時無呼吸症に対するオーラルアプライアンスによる治療や、上下顎前方移動術による治療も行なっております。

診療部長　川又　均（かわまた　ひとし）

医局長　福本　正知（ふくもと　ちょうじ）

外来医長　和久井崇大（わくいたかひろ）

病棟医長　小宮山雄介（こみやまゆうすけ）

外来受付電話番号　0282-87-2212

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	専門医
川又　均（かわまた　ひとし）	教　授	□腔外科一般	□腔癌、唇顎□蓋裂、歯科インプラント、顎顔面外傷、有病者歯科	＊1 ＊2 ＊4 ＊5 ＊6 ＊8 ＊9 ＊11 ＊12＊14 ＊15 ＊16 ＊17
和久井崇大（わくいたかひろ）	准教授	□腔外科一般	□腔癌、唇顎□蓋裂、顎顔面外傷、歯性感染、顎変形症、有病者歯科	＊1 ＊2 ＊4 ＊5 ＊6 ＊7 ＊8 ＊9 ＊11 ＊17
福本　正知（ふくもと　ちょうじ）	講　師	□腔外科一般	□腔癌、化学療法（悪性腫瘍、抗菌薬）、顎顔面外傷、院内感染対策	＊1 ＊2 ＊3 ＊4 ＊5 ＊7 ＊20
小宮山雄介（こみやまゆうすけ）	講　師	□腔外科一般	□腔粘膜疾患、顎骨腫瘍、歯科インプラント、有病者歯科、□腔ケア	＊2 ＊4 ＊5 ＊7 ＊10
八木沢就真（やぎさわしゅうま）	助　教	□腔外科一般	歯科インプラント、歯性炎症、有病者歯科、□腔ケア	＊3
藤原　昂夢（ふじわら　あむ）	助　教	□腔外科一般	歯性炎症、有病者歯科、□腔ケア	＊3
白石　怜（しらいし　りょう）	助　教	□腔外科一般	□腔粘膜疾患、□腔カンジダ症、歯科インプラント、歯性炎症、有病者歯科	＊3
小池　亜弥（こいけ　あや）	助　教	□腔外科一般	歯科インプラント、歯性炎症、有病者歯科、□腔ケア	
国富　陽介（くにとみ　ようすけ）	助　教	歯科矯正	歯科矯正	＊18
小山　祐平（こやま　ゆうへい）	助　教	歯科麻酔	歯科麻酔、有病者歯科、障がい者歯科、□腔ケア	＊21
（以下非常勤）				
長谷川智則（はせがわとものり）	助　教	□腔外科一般	歯性炎症、小児□腔外科、有病者歯科	＊2 ＊3 ＊6 ＊7 ＊9 ＊14
俵藤　俊暉（ひょうどう　としき）	助　教	□腔外科一般	顎顔面外傷、歯性炎症、有病者歯科	＊3
人見　雅代（ひとみ　まさよ）	助　教	□腔外科一般	有病者歯科、□腔ケア	
大友　文雄（おおとも　ふみお）	非常勤助教	有病者歯科	有病者歯科、□腔ケア	＊4
越路千佳子（こしじ　ちかこ）	非常勤助教	□腔外科一般	唇顎□蓋裂、有病者歯科、□腔ケア	＊2 ＊10
博多　研文（はかた　けんぶん）	非常勤助教	□腔外科一般	顎顔面外傷、有病者歯科、障害者歯科	＊2 ＊3 ＊4 ＊7
螺良　真希（つぶら　まき）	非常勤助教	□腔外科一般	歯性炎症、有病者歯科、□腔ケア	＊2 ＊3
大島　遼（おおしま　りょう）	非常勤助教	□腔外科一般	歯科インプラント、歯性感染、顎顔面外傷、□腔ケア	＊2 ＊3 ＊7
上岡　寛（かみおか　ひろし）	非常勤講師	歯科矯正	歯科矯正	＊18 ＊22
西　恭宏（にし　やすひろ）	非常勤講師	歯科補綴	歯科補綴、顎補綴	＊23 ＊24 ＊25

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：日本□腔外科学会指導医
＊2：日本□腔外科学会専門医
＊3：日本□腔外科学会認定医
＊4：臨床研修指導歯科医
＊5：日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科□腔外科）
＊6：日本□腔科学会指導医
＊7：日本□腔科学会認定医
＊8：日本有病者歯科医療学会指導医
＊9：日本有病者歯科医療学会専門医
＊10：日本有病者歯科医療学会認定医
＊11：日本□腔腫瘍学会暫定□腔がん指導医
＊12：日本顎顔面インプラント学会指導医
＊13：日本歯科麻酔学会認定医
＊14：日本小児□腔外科学会指導医
＊15：日本小児□腔外科学会認定医
＊16：日本□腔インプラント学会指導医
＊17：日本□腔内科学会指導医
＊18：日本矯正歯科学会認定医
＊19：日本睡眠歯科学会認定医
＊20：ICD制度協議会認定ICD
＊21：日本再生医療学会 再生医療認定医
＊22：日本矯正歯科学会指導医
＊23：日本補綴歯科学会指導医
＊24：日本老年歯科学会老年歯科指導医
＊25：日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

リハビリテーション科

□ 診療内容

ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、リハビリテーション医療一般について総合的に対応しております。療育を必要とする小児疾患、脳血管障害や脊髄障害を中心とした神経疾患、骨・関節障害などの整形外科疾患以外にも循環器疾患、呼吸器疾患、老化や生活習慣病にともなう各種障害に対して、評価と治療ならびにその原因疾患に関する継続的対応や生活援助について、全人的に診療しています。

病棟には各種コミュニケーション機器、移乗用リフト、電動車椅子、障害者用トイレなどが整備され、重度障害や重複障害における回復期リハビリテーションと在宅・社会復帰などを目標として、院内各診療専門科と連携をとりリハビリテーション診療を行います。

□ 主な対象疾患

以下の疾患を原因とする運動障害、知的障害、言語障害、摂食障害、排泄障害などから発生する能力障害（動作障害としての歩行障害など）や社会的不利が治療対象です。

1．脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷、パーキンソン病、アルツハイマー病、脳性麻痺などの脳障害
2．外傷性脊髄損傷、脊髄変性疾患、脊髄腫瘍、脊髄血管障害、二分脊椎などの脊髄障害
3．関節リウマチ、膠原病、変形性関節症、骨折、手の外科術後、切断、火傷後拘縮、骨粗鬆症、先天奇形などの骨・関節障害
4．末梢神経疾患、変形性脊椎症、椎間板ヘルニア、筋萎縮症、進行性筋ジストロフィー症などの神経・筋障害
5．肺気腫、肺外科術前術後、誤嚥性肺炎などの呼吸機能障害
6．失語症、言語発達障害、口蓋裂などの言語障害
7．糖尿病、高血圧症、高脂血症、肥満症、老化による体力低下など
8．脳卒中、神経筋疾患、加齢性変化などによる嚥下障害

□ 特徴・特色

1．特定機能病院内にある総合承認施設（理学療法士42名、作業療法士11名、言語聴覚士5名）を用いた外来、入院での総合リハビリテーション医療
2．小児訓練室、言語・聴覚訓練室、日常生活動作訓練室などを備えた総合施設
3．地域連携・患者サポートセンター（医療福祉相談部門、退院サポート室）と連携した地域・住宅・社会復帰援助
4．精神・心理面を含めた各診療専門科と連携した全人的リハビリテーション対応
5．各種疾患（脳血管障害、先天性小児疾患）に対する早期リハビリテーション医療
6．老年医学研修施設としての高齢者リハビリテーション対応

□ 専門外来

装具診外来：　月　pm 2:00～　美津島　入澤　中村
（神経・筋疾患、骨・関節疾患に対する下肢装具、体幹装具（コルセットなど）、上肢装具、杖、車椅子、特殊靴、その他の福祉機器などと切断に対する義手、義足を義肢装具士とともに適合判定します。）

ボツリヌス外来：　月・金　am 9:00～　入澤　中村
（脳卒中後の上下肢の痙縮に対するボツリヌス治療を行います。）

診療部長	美津島（みずしま）　隆（たかし）
医局長	入澤（いりさわ）　寛（ひろし）
外来医長	中村（なかむら）　智之（ともゆき）
病棟医長	入澤（いりさわ）　寛（ひろし）

外来受付電話番号　0282-87-2215

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	専門医
美津島（みずしま）　隆（たかし）	教　授	リハビリテーション一般 （リハビリ医学専門医）	脳血管障害、脊髄障害、義肢装具、嚥下障害、循環器疾患、呼吸器疾患	＊1 ＊5
入澤（いりさわ）　寛（ひろし）	准教授	リハビリテーション一般 （リハビリ医学専門医）	脳血管障害、運動器障害、脳性麻痺、嚥下障害、痙縮治療	＊1 ＊6 ＊7
中村（なかむら）　智之（ともゆき）	講　師	リハビリテーション一般 （リハビリ医学専門医）	脳血管障害、循環器疾患、嚥下障害、義肢装具	＊1
千葉（ちば）　友美（ゆみ）	助　教	リハビリテーション一般	整形外科、義肢装具、嚥下障害	＊1
星合（ほしあい）　宗（はじめ）	専攻医			
廣田（ひろた）　美槻（みつき）	専攻医			
春田（はるた）　侑亮（ゆうすけ）	専攻医			
川澄（かわすみ）　沙帆（さほ）	専攻医			
広瀬（ひろせ）　健（けん）	非常勤講師	リハビリテーション一般 循環器疾患	脳血管障害、虚血症心疾患、慢性疼痛疾患	＊2 ＊4
鈴木（すずき）　大雅（ひろまさ）	非常勤助教	リハビリテーション一般 （リハビリ医学専門医）	脳血管障害、脊髄障害、末梢神経障害、整形外科疾患	＊1

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：公益社団法人　日本リハビリテーション医学会　リハビリテーション科専門医
＊2：一般社団法人　日本循環器学会　循環器専門医
＊3：公益社団法人　日本麻酔科学会　麻酔科専門医
＊4：一般社団法人　日本ペインクリニック学会　ペインクリニック専門医
＊5：一般社団法人　日本脳卒中学会　脳卒中専門医
＊6：公益社団法人　日本整形外科学会　整形外科専門医
＊7：公益社団法人　日本整形外科学会　運動器リハビリテーション認定医

□ その他

主な医療設備

○レーザー治療
1,000ｍＷの半導体レーザー治療器を、除痛目的のみでなく、麻痺性疾患による筋緊張亢進に対して無侵襲緊張調整として機能訓練と併せて使用しています。

○日常生活動作訓練
作業療法士が在宅生活の擬似動作訓練を行っています。実際に直接生活に役立つ援助を計画します。外来・入院ともに利用可能です。

○磁気刺激療法
連続的な末梢神経刺激を可能にした磁気刺激装置「Pathleader」を導入しています。経皮的な電気刺激と異なり、磁束によって作られた過電流が筋肉の神経線維を刺激することが特徴で、電気刺激と比べて痛みや不快感を感じにくい状態で深部の神経線維にアプローチすることができます。

○筋電義手
断端に残った筋肉を動かすことで発生する電気信号を利用した筋電義手を、病気・事故などによって腕を失った方に向けて処方・訓練しています。2020年現在、県内では唯一の実施医療機関となっております。

形成外科・美容外科

□ 診療内容

形成外科は体表あるいは体表に近い身体各部の先天的および後天的疾患による変形に対して、おもに手術的治療によって形態および機能の修復をはかる外科学の一分野であります。形成外科固有の疾患に対する手術のみならず、他科との連携によって悪性腫瘍切除とともに行う再建手術も頻繁に行っております。また美容外科は形成外科の一分野であります。当科は広く形成外科一般について診療を行っており、必要に応じて入院手術を行う体制を整えております。

□ 特徴・特色

形成外科一般について医学的に適正で心のこもった治療を提供することをモットーとしています。とくに顔面神経麻痺の形成外科的治療、小耳症に対する耳介形成手術については十分な実績を持っており、この分野では遠方からも患者さんがいらっしゃるセンターとなっております。また乳がん・頭頸部がんなどの悪性腫瘍切除後の変形に対する治療、口唇口蓋裂の一次形成手術あるいは瘢痕や変形に対する二次形成手術、耳介や顔面のその他の先天的疾患に対する形成手術、手指・足趾の先天的疾患に対する形成手術、顔面や手の外傷（顔面骨骨折や切断指など）、熱傷および熱傷瘢痕拘縮、皮膚・軟部組織腫瘍や耳下腺腫瘍に対する治療、などに対して積極的に取り組んでいます。

形成外科が開設された2006年から入院手術数は年々増加し、最近は年500件を超えております。新しい専門医制度のもとで形成外科の基幹施設としての役割を担っています。

□ 専門外来

顔面神経麻痺外来：（月・木）午前　梅川
小耳症外来　　：（木）午後　倉林
初診は（月）から（土）の午前8時から11時まで受付けしております。
（月）から（金）の午後は再診予約制で、日帰りの手術にも対応しています。

診療部長	飯田（いいだ） 拓也（たくや）
医局長	倉林（くらばやし） 孝之（たかし）
外来医長	梅川（うめかわ） 浩平（こうへい）
病棟医長	倉林（くらばやし） 孝之（たかし）

外来受付電話番号　0282-87-2488

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	専門医
朝戸（あさと） 裕貴（ひろたか）	特任教授	形成外科一般	顔面神経麻痺、小耳症、がん切除後の再建外科	＊1 ＊2
飯田（いいだ） 拓也（たくや）	教　授	形成外科一般	乳房再建、頭頸部再建	＊1
梅川（うめかわ） 浩平（こうへい）	講　師	形成外科一般	足難治性潰瘍、眼瞼下垂、顔面神経麻痺	＊1
倉林（くらばやし） 孝之（たかし）	講　師	形成外科一般	小児先天異常全般	＊1
中村（なかむら） 佑紀（ゆき）	医　員			
松元麻里子（まつもとまりこ）	レジデント			
佐山（さやま） 太郎（たろう）	レジデント			
本庄（ほんじょう） 和輝（かずき）	レジデント			
大塚（おおつか） 天心（てんしん）	レジデント			
下田（しもだ） 実果（みか）	レジデント			

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：一般社団法人　日本形成外科学会　形成外科専門医
＊2：一般社団法人　日本手外科学会　手外科専門医

□ その他

特に紹介していただきたい疾患

○顔面神経麻痺：陳旧性となった顔面神経麻痺に対して神経血管付遊離広背筋移植を中心とした表情の再建手術を行っています。
○小耳症：肋軟骨移植による耳介形成術、および耳鼻咽喉科との共同手術で外耳道形成術による聴力改善も目指した治療を行っています。
○悪性腫瘍切除後の変形：乳がん切除後の乳房再建、頭頸部がん切除後の顔面変形の再建についてマイクロサージャリーを用いた遊離組織移植を行っています。
○口唇口蓋裂：一次形成術ならびに瘢痕や変形に対する二次形成術について、医学的見地から適正な時期に形成外科手術を行い、瘢痕や変形を目立たなくさせることを目指しています。
○耳介や顔面、手足の先天的疾患：各種の耳介先天性変形や眼瞼下垂、合指症や多指症などの手足の先天性変形に対して、医学的見地から適正な形成外科手術を行います。
○顔面や手の外傷、熱傷：顔面骨骨折の整復固定術、切断指の再接着術、熱傷に対する植皮術などを行います。また瘢痕拘縮やケロイドに対して治療を行います。
○皮膚・軟部組織腫瘍や耳下腺腫瘍：身体各部の皮膚・皮下軟部組織腫瘍の切除術、顔面神経機能を確実に温存する耳下腺腫瘍の摘出術などを行います。
○リンパ浮腫：乳がん切除後や婦人科腫瘍切除後、先天性や外傷後などに生じる上・下肢のリンパ浮腫に対して、顕微鏡下におけるリンパ管静脈吻合を行っております。

救急・集中治療科 救命救急センター、集中治療センター

□ 特徴・特色

当施設は日本救急医学会、救急科専門医指定施設の資格を有する救命救急センター病棟27床と、日本集中治療医学会専門医研修施設の資格を有する集中治療室12床で構成された、併設型救命救急センターとして救急患者さんの診療に当たっております。救急隊からの要請に応じ、救急科専門医と各科専門医が24時間体制で救急処置、診断、治療を迅速に対応できるよう努めております。

2010年1月より栃木県ドクターヘリ運航事業が開始され、当病院を基地病院として、当施設を含めた県内救命救急センター5施設と救急医療機関、消防機関が連携し、栃木県救急医療体制の向上に努めております。現在は全国でも有数の出動数となっております。

（2023年度　要請　659件、出動 547件）

さらに当院は災害拠点病院、DMAT指定医療機関に指定されており、災害時に迅速に対応するため、政府総合訓練やDMAT関東ブロック訓練などに積極的に参加しています。実際に東日本大震災、熊本地震、2019年に発生した台風による豪雨災害に出動し活動しました。コロナ渦にあっても、武漢帰国者やクルーズ船乗員対応、県内クラスター病院支援活動を行いました。令和6年能登半島地震においても、保健医療福祉調整本部活動や病院支援に携わりました。

□ 診療概要

救急車やドクターヘリによって搬送された緊急疾患・外傷患者さんなどの初期診療を行い、必要に応じて救命救急センター病棟にて全身管理を行います。一方、当院の集中治療室はClosed ICUであり、院内急変や重症の患者さん、侵襲の大きな術後管理などを当センターの専従医が24時間体制で診療にあたっております。さらには、早期離床リハビリや早期栄養療法を積極的に行うため、専従の看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士、栄養士が毎朝カンファレンスに参加してチーム医療を行っております。近年はコロナ重点医療機関として、新型コロナウイルス感染症、特に重症の患者さんの治療にあたってもきました。

【主な対象疾患】

○心肺停止	○ショック	○重症呼吸不全
○重症肝不全	○多発外傷	○敗血症
○急性中毒	○広範囲熱傷	○虚血性心疾患
○脳血管障害	○意識障害	

□ 診療体制

救急傷病患者に24時間体制で対応しております。

日勤帯救急対応：専従医24名　（救急科専門医 14名）
（救急・集中治療科17名、心臓・血管内科3名、脳神経内科2名、脳神経外科1名、呼吸器・アレルギー内科1名）

夜間帯救急対応：当直医師3名＋初期研修医 数名

休日日勤救急対応：当直医師3名、
日勤医師2名（計5名）＋初期研修医 数名

栃木ドクターヘリ：原則、医師2名、看護師1名にて搭乗

□ 主な医療設備

【診療施設】

初期治療室1室（3床）、救命救急センター病棟27床（内集中治療室7床）、集中治療センター 12床、洗浄室1室

【検査室・機器】

CT室1室、X線撮影室1室
超音波診断装置、心電図等診断装置、気管支ファイバースコープ、上部消化管内視鏡、各種呼吸循環モニター

【特殊機器】

経皮的心肺補助装置、大動脈内バルーンパンピング、IMPELLA、体外式ペースメーカー、血液浄化装置、人工呼吸器ほか

□ その他

栃木県病院前救護体制検討部会下都賀・上都賀地域のメディカルコントロール検証施設として、所轄消防本部のある石橋や栃木、鹿沼、日光の救急救命士の技術指導に協力し、救急活動の向上に努めております。

またモビリティリゾートもてぎでのレース開催時には、重症外傷発症時のヘリコプター搬送による救急対応にも協力しております。

センター長　和氣（わけ）　晃司（こうじ）
医局長　菊池（きくち）　仁（じん）
外来医長　町田（まちだ）　匡成（まさなり）
病棟医長　内田（うちだ）　雅俊（まさとし）

電話番号　0282-87-2477（救命救急センター）
0282-87-2188（集中治療センター）

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	専門医
和氣（わけ）　晃司（こうじ）	教　授	救急・集中治療、麻酔、航空医学、災害医療(DMAT)	＊1 ＊2 ＊3 ＊10 ＊16
菊地（きくち）　研（みがく）	教　授	循環器救急、集中治療、心肺蘇生　心拍再開後治療	＊1 ＊2 ＊4 ＊7 ＊11
荒川（あらかわ）　明子（あきこ）	助　教	神経外科救急、脳血管障害	＊8
星山（ほしやま）　栄成（えいせい）	准教授	神経救急、脳血管障害	＊1 ＊4 ＊6 ＊11 ＊12 ＊13 ＊14
内田（うちだ）　雅俊（まさとし）	准教授	救急・集中治療、航空医学	＊1 ＊4 ＊11
増山（ますやま）　智之（ともゆき）	准教授	救急・集中治療	＊1 ＊11
菊池（きくち）　仁（じん）	講　師	救急・集中治療、航空医学、災害医療(DMAT)	＊1 ＊10
林（はやし）　健太郎（けんたろう）	講　師	救急・集中治療、麻酔、航空医学	＊1 ＊2 ＊11
内田（うちだ）　信彦（のぶひこ）	助　教	呼吸器救急、アレルギー、感染症	＊4 呼吸器専門医　気管支鏡専門医
高野（たかの）　雅嗣（まさつぐ）	助　教	神経救急、脳血管障害	＊4 ＊6
町田（まちだ）　匡成（まさなり）	助　教	救急・集中治療、麻酔、災害医療(DMAT)、航空医学	＊1 ＊2 ＊10
前川（まえかわ）　奈々（なな）	助　教	救急・集中治療、航空医学、災害医療(DMAT)	＊1
寶住（ほうずみ）　肇（はじめ）	助　教	救急・集中治療、麻酔、航空医学	＊1
石田（いしだ）　和俊（かずとし）	助　教	循環器救急	
正和（まさわ）　泰斗（たいと）	助　教	循環器救急	
井上（いのうえ）　莉里（りり）	助　教	循環器救急	＊4
佐久間大智（さくまだいち）	助　教	救急・集中治療、災害医療(DMAT)	＊1
廣瀬（ひろせ）　晃平（こうへい）	助　教	救急・集中治療	＊1
野間（のま）　真人（まさと）	助　教	救急・集中治療	
本田（ほんだ）　新（あらた）	助　教	救急・集中治療	＊1
片柳（かたやなぎ）　翔太（しょうた）	助　教	救急・集中治療	
眞船（まふね）　芳郎（よしろう）	レジデント	救急・集中治療	
小島（こじま）　美優（みゆう）	レジデント	救急・集中治療	
樋田（ひだ）ゆめか	レジデント	救急・集中治療	

＊各医師の担当曜日等は、別紙「外来曜日別診療医一覧表」でご確認ください

＊1：一般社団法人　日本救急医学会　救急科専門医
＊2：公益社団法人　日本麻酔科学会　麻酔科専門医
＊3：一般社団法人　ペインクリニック学会　ペインクリニック専門医
＊4：一般社団法人　日本内科学会　総合内科専門医
＊5：一般社団法人　日本熱傷学会　熱傷専門医
＊6：一般社団法人　日本神経学会　神経内科専門医
＊7：一般社団法人　日本循環器学会　循環器専門医
＊8：一般社団法人　日本脳神経外科学科　専門医
＊9：日本脳卒中学会　専門医
＊10：日本航空医療学会　認定指導者
＊11：一般社団法人　日本集中治療医学会　集中治療専門医
＊12：一般社団法人　日本老年医学会　老年病専門医
＊13：一般社団法人　日本頭痛学会　頭痛専門医
＊14：一般社団法人　日本抗加齢医学会　抗加齢医学専門医
＊15：一般社団法人　日本外科学会　外科専門医
＊16：一般社団法人　社会医学系専門医協会　社会医学系専門医

乳腺センター

センター長　中川（なかがわ）　剛士（つよし）

外来受付電話番号　0282-87-2084

□ はじめに

乳腺センターでは、乳腺疾患の診断および治療、遺伝性乳がん卵巣がん症候群などの遺伝性腫瘍のご相談（遺伝カウンセリング）など、最新の知見をもとにした乳腺疾患の診療を行っております。

□ 診療内容

適切な診断と治療を行うため、丁寧な診察を心がけています。何らかの症状があり、乳がんを心配される方は早めに受診してください。また、ご家族やご親戚の中に、乳がんや卵巣がんなどの方がおられ、遺伝性のがんをご心配されていらっしゃる方に、遺伝カウンセリングを行っております。

乳がんについて）

乳がんは、治療によって治る可能性が高い病気です。治療は、手術だけでなく、さまざまな種類の薬物療法をはじめ、放射線治療やリハビリテーション、あるいは痛みや精神的苦痛を和らげる緩和医療の組み合わせが重要です。標準的な治療を基本としますが、ただ“がん”の治療をするだけでなく、患者さんお一人お一人のがんの状態、お体の状態、生活環境等を十分に考慮した上で、最適な治療をご提案し、ご納得いただいた上で治療ができるよう努力しております。

乳がんの症状）

乳がんの症状には、腫瘤（しこり）、硬結（乳腺の一部が硬くなること）、乳頭からの異常分泌（血液）、乳頭のびらん（ただれたような状態になること）などがあります。全く症状がない場合も多いので、早期発見のために検診も非常に重要です。乳房の痛みは、ホルモンバランスによるものが多く、通常は乳がんの症状ではありません。

診察の流れ）

問診票にご記入いただいた後、画像検査を行います。検査は、マンモグラフィおよびトモシンセンシス、超音波検査（エコー）、必要に応じてCTやMRI等を行います。組織からの針生検や画像誘導下組織吸引生検、場合によっては摘出生検によって、確定診断を行います。

対象疾患）

乳癌、遺伝性腫瘍（ご本人および血縁の方）、葉状腫瘍、その他乳房の良性疾患

乳房のことで悩んでいる方に、安心して診察を受けていただけるよう、優しい診療を心がけています。ご不明なことがありましたら気兼ねなくお問い合わせください。

□ スタッフと専門領域

氏名	職名	専門分野	特に専門とする領域	認定医・専門医
中川（なかがわ）　剛士（つよし）	教　授	乳腺外科	乳がん診療	外科指導医・乳腺指導医